

かくどけい

KAKUDOKEI 2011

100号



社団法人熊本県理学療法士協会

平成 23 年 11 月 28 日 発行



- 001 巻頭言 「進化」 前田比呂志
- 002 理事会報告
- 011 各部・委員会報告
生涯学習部
規約審議委員会
渉外部
福祉部
表彰審査委員会
学術事業部
保険部
調査資料部
宣伝部
教育部
学術部
事業部
- 016 学術事業部 文献紹介
- 017 事務局だより
- 018 くまもと北から南から
- 020 法人取得後 100 号記念特集
「かくどけい」に歴史あり ザ・ヒストリー
ザ・メイキング「かくどけい」が出来るまで
理学療法士作って体験！ 記念付録 角度計クラフト版
- 025 大観望 「今年を振り返って」 岩下佳弘
「ハラスメント」 草野隆夫
- 026 学会・研修会印象記
「リハビリテーション・ケア合同研究大会くまもと 2011 の運営・発表を終えて」
「リハビリテーション・ケア合同研究大会くまもと 2011 に参加して」
- 027 よろず運動療法相談所 ～呼吸小委員会～
- 028 医療・介護ナビ お役立ち便利グッズ紹介
- 029 第 16 回熊本県理学療法士学会のお知らせ
- 030 くまもとの理学療法情報 PT Walker 熊本
- 031 他士会便り 「理学療法士、家を買う。」 広島 No. 216
学会・研修会のお知らせ
- 032 国際医療福祉大学大学院紹介
賛助会員一覧
- 033 事業予定表
- 034 医療機器トピックス
編集後記

熊本県理学療法士協会広報部では皆様からの投稿をお待ちしております。医療や介護に関するトピックスや学会・研修会・勉強会の情報など理学療法士として伝えたい情報をお寄せください。

発行 奇数月の月末 6回/年

投稿の方法 協会事務局に原則としてメールで送付してください。

原稿の採択 「投稿規定」に則りその内容を検討し、掲載可否について審議し決定します。なお掲載にあたり、広報部より誌面の関係上原稿について執筆者との協議を通じて、内容の変更をお願いすることがあります。

お問合せ先 (社) 熊本県理学療法士協会事務局

TEL 096-389-6463

E-mail kpta_kat@mtg.biglobe.ne.jp

『 進 化 』

社団法人 熊本県理学療法士協会
副会長 前田比呂志

当協会が法人格を取得してから 17 年の歳月を経て広報誌「かくどけい」もおかげさまで 100 号を迎えることが出来ました。一言で言えば簡単な「100 号」ですが、この場をお借りしてこれまでの広報部の努力に深く感謝致します。かくどけいは、発刊の時期に合わせた時事を非常にインパクトの強い表紙で飾り、協会運営状況や理事会内容がつかめる議事録と理事会のつぼ、そして各部委員会報告と事務局だより、ブロック活動報告や研修会案内・・・等など会員への情報誌としては完成度の高いものです。更に今年度から CD 化し、かくどけいは「進化」しています。CD 化によるデメリットも囁かれ始めていますが、会員の意識レベルの問題であると私は考えています（会員が増え協会運営上の大きな問題になっています）。広報部の努力の賜物かくどけいを是非ご覧頂きたいし、協会活動に是非関心を持っていただきたい。20 年後 30 年後の理学療法及び理学療法士のために。

現代は、社会構造の変化やニーズの多様化・科学技術の発展により理学療法を取り巻く環境が変化していますし、理学療法士人口の増加により質の低下や職域の問題など、理学療法士としての問題も山積しています。我々理学療法士も諸問題に対応し「進化」すべき時期に来ていると感じています。

熊本県理学療法士協会としては、社会的信用を得る為に公益法人化を進めて参りました。そしてようやく平成 23 年 10 月 23 日 21 時 44 分に、公益法人電子申請ボタンを北里会長に押して頂きました。これから審議会に係るまでに修正などの指導が入りますが、平成 24 年 4 月公益法人化に向けて進めて参ります。これまでの協会活動を基盤にして更に公益性の高い活動に「進化」していかななくてはならないと考えています。組織検討特別委員会でも公益性や機能性・発展性を鑑み組織再編を議論しています。理学療法士法が制定されて 46 年が経過しました。先人が築いてきた理学療法を更に「進化」させ、理学療法という言葉が共通認識になるよう社会的認識が高まるようにしていかななくてはなりません。協会も公益化に絡み事業展開が「進化」しますし、理学療法士連盟との協同作業で職域の拡大や県民や他団体からの信用を得るといった方向に「進化」しなければなりません。

広報部においては、今後も会員への情報提供と県民の皆様への健康に関する情報発信をお願いし、会員の皆様においては、百尺竿頭一步進めるの精神で協会・連盟活動への理解と参画を切にお願いいたします。



理事会報告

平成23年度第6回理事会議事録(要約)

日時：平成23年8月3日(水)19:00~21:00

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

(理事)北里・大島・坂崎・飯星・大脇・川上・田島・

筒井・野津原・前田・増田・光本

(監事)寺川・中島

(事務局員)坂本

(事務職員)石黒・前田

欠席者：(理事)三宮・野間(相談役)森重

(事務局員)山本・福島・久米野

書記：森内・緒方(朝日野総合病院)

1. 報告事項

1) 特別委員会報告

◇公益法人対策特別委員会

○県庁訪問07/28(木)

- 1) 資産管理規程の確認
- 2) 非会員の把握状況報告と確認
- 3) 申請に関する書類の確認
- 4) 特別会計に関する表記 確認

(前田)今後の見通しとして、9月に総会を開いて、9月末に申請、10月以降に修正が2~3回の予定。

(会長)9月末に申請したいということで、9月10日に臨時総会を開催できるように準備をしたい。

◇情報共有推進化特別委員会

(筒井)システムについてのアンケートを行った。ログイン方法や演題の編集形式などの検討を行った。

◇訪問リハ対策特別委員会

(大脇)8月7日に今年度の研修を終える予定である。吸引の研修会については、OT会、ST会の開催分も広報予定。

(大島)事例集について、HPで閲覧可能。

◇渉外活動推進特別委員会

○ねんりんピックについて

10/16(日):10名、10/17(月):4名参加可能

(担当者と調整中)

◇組織検討特別委員会

○会議開催 06/18(土)17:00~18:00 火の国ハイツ

1) 組織検討委員会の今後の進め方について

今後の方針およびスケジュールの決定

- ・ブロック再編、分野別小委員会の再編及び役割分担、部局の再検討を主な着眼点とする。
- ・事務局業務に留意し、不必要な作業は省く。
- ・平成25年4月に新体制での実働。平成24年の総会で承認を得、24年8月までに組織構成を進める必要あり。(タイムスケジュールを検討)

2) 平成23年度研修会等の変更について

○第9回『PTあ!(ピタ)』っと健康講座 【事業部】

【変更後】テーマ:「No Return 腰痛

~痛かつあ、もういやばい~」

○介護支援専門員受験対策講座 【事業部】

【変更後】期日:平成23年9月25日(日)

○協会杯グランドゴルフ大会 【事業部】

【変更後】期日:平成23年10月2日(日)

○第1回新人研修会 【生涯学習部】

【変更後】期日:平成23年6月18日(土)・19日(日)

講師:小川克巳氏(日本理学療法士協会)

北里堅二、星澤厚志

○第2回新人研修会 【生涯学習部】

【変更後】期日:平成23年8月21日(日)

○糖尿病小委員会研修会 【糖尿病小委員会】

【変更後】期日:平成24年2月5日(日)または、

2月12日(日)(講師の都合で変更もある)

3) 平成24年度事業計画案報告

○学術部事業計画案

【学術部】

「膝のバイオメカニクス、運動連鎖を利用した動作分析(仮)」・「ボバースアプローチの最新知見(仮)」

「肩関節の機能解剖学(仮)」にて準備中。

(会長)テーマと講師についての根拠を明らかにしたうえで、局で検討した上で報告して頂く。

4) 九州ブロック教育・学術担当者会議報告

【大協理事】

①次年度より教育学術担当者会議と臨床実習担当者会議を統一する

②臨床実習指導者研修会を全国協会の予算で実施できないか、臨床実習担当者会議で検討予定。

③現職者研修会・管理者研修会・臨床実習指導者研修会の企画検討を行う方向で会長会議へ提案。

(大協)①は、この会議の場で統一することが決まったが、②教育部臨床実習教育班にて検討予定。

(会長)③は、九州の現職者講習会と管理者研修会、臨床実習指導者研修会についてはこの会議で企画検討した上で提出してほしいとのこと。

5) 第5回熊本県医療・保健・福祉連携学会開催について

【野間理事】

日時：平成24年3月20日(祝)10:00~16:30予定

2. 協議事項

1) 副会長人事について【北里会長】

小森田副会長を解任、前田理事を副会長へ選任

2) 規約審議委員会の委員長人事について

【北里会長】

永崎規約審議委員長を解任、溝田氏(熊本保健科学大学)が委員長に選任

3) 臨時総会開催の件【公益法人対策特別委員会】

(坂崎)今年度の事業について、3月の総会后、公益事業に変更した事業があるので、承認をいただきたい。詳細は、次の議事の説明。日程は9月10日(土)熊本総合医療リハ学院を会場に19:00より開催したい。

(会長)特になければ、この日程で進める。

4) 平成23年度事業計画・予算修正案【事務局】

(坂崎)春の県庁からの指導のもと「共益」から「公益3」に変更したというのが大きな変更点となる。それに伴い、予算案も変更。理学療法士協会会館取得積立預金として2500万円を計上。収支予算書内訳表について。「医療保健関連職種の資質向上に資する事業」が3,515,000円に対し、変更後が4,095,000円。変更前の「会員の資質向上のための事業」の1,685,000円が1,105,000円にと

ろが変更点となっている。これによって、公益事業比率が、53.9%から58.0%になっている。

(会長)それでは決をとる。

—全員賛成—

5) 第1回保険診療研修会の開催について【保険部】

4月開催予定だった第1回保険診療研修会であるが、江藤の体調不良により急遽中止となった。

①今年度は中止とする案。

②保険部員の中から講師代役を立てる。また、講師のキャリアや負担を考慮し、参加者の募集は卒後3年未満の者とする。第2回研修会を10月に開催予定であるので、9月頃に開催を考えている。

上記、2案について理事会の判断をお願いしたい。

(会長)両方意見があるので、挙手にて決をとる。

—中止— (中止6名、開催5名)

(会長)中止とする。予算も再考の必要がある。

6) 24時間テレビのブース出展について【事業部】

(保田)KKTより、24時間テレビにブース出展しないかと提案があった。

①南会館会場の出展スペースで、腰痛体操など自由に使用できる。提案されているブースの間取りは9000mm×6000mmで、隣には東日本大震災のチャリティー募金などを行っている。②14:40~15:00までの時間にPRタイムとして使ってよい。③協賛することになれば、CMIに協賛として流すことができる。①~③込みで50万円。

(田島)今から支出に見合うだけの準備・宣伝効果ができるのか。宣伝効果という意味では名前が出る分としては予算に見合うとは思いますが、企画準備ができていないので、参加するのはもったいないと思う。

(会長)参加しないという意見が多かったが、参加しないということに賛成の方は挙手をお願いする。

—今年度は不参加で全員一致—

(会長)来年度、予算を考えていくようにする。参加者や会場の雰囲気のリサーチをした方が良いので、時間がある理事の方は是非、参加するように。

(中島)協賛という言葉に、公益性に欠けるような印象をうける。

(会長)協賛金として落としたものが、公益とできるか、調べておくように。

(前田)了承。

7) その他

(大島)臨床実習の手引き第5版について、テキストとして使わなくなったので、有効活用できる方に使っていたらと考えている。

(会長)臨時総会のときに、1施設1冊で配布して、残りは学校に配布、有効活用してもらおうということでよろしいだろうか。

—全員一致—

(田島)協会のホームページに学会のバナーをつけてほしいという依頼があり、それを許可していいものか、協議してほしい。

(会長)相手側から公序良俗に反するところであれば承認するということがよろしいか。

—全員一致—

(坂崎)JPTAの義援金Tシャツの件について、今週一杯まで申請を受け付けられる。

(坂崎)Sを15、Mを15枚ずつ発注する。

—全員一致—

(会長)全国協会から、学会の担当者を推薦するようとのこと。詳細を確認してから連絡する。

以上、閉会

平成23年度 第7回理事会議事録(要約)

日時：平成23年9月7日(水)19:00~20:30

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

(理事)北里・前田・坂崎・飯星・大脇・川上・筒井・

野津原・野間・増田・光本

(監事)寺川

(事務局員)坂本

(事務職員)石黒・前田

欠席者：(理事)大島・三宮・田島 (監事)中島

(相談役)森重 (事務局員)福島・久米野・山本

書記：市原・村木(江南病院)

1. 報告事項

1) 特別委員会報告

◇公益法人対策特別委員会

(会長)9/10の総会后提出用書類を完成し9月末までには完成したい。

◇情報共有推進特別委員会

(飯星)査読システムについて打ち合わせを行っている。

◇訪問リハ対策特別委員会

(大脇)9/12開催予定、報告事項なし。13日熊本訪問リハ協議会開催予定。

◇渉外活動推進特別委員会

(坂崎)

○ねんりんピック：スタッフ配置等について調整中。現在まで参加可能者は16日9名、17日4名であり、決定次第詳細を伝える予定。

○熊本城マラソン支援：進展なし。

◇組織検討特別委員会

(会長)次回9月16日に「ブロックのあり方について」ブロック長によって実施、検討する予定。場所は熊本総合リハビリテーション学院。

2) 平成23年度研修会等の変更について

○臨床実習教育研修会

【教育部】

【変更後】期日：平成24年1月22日(日)

○介護教室

【福祉部】

【変更後】

場 所：九州中央リハビリテーション学院

テーマ：「障害を持つ子ども達の理解

～乳幼児期の発達特徴とその支援～」

○福祉研修会

【福祉部】

【変更後】場 所：熊本保健科学大学

○第2回新人研修会

【生涯学習部】

【変更後】場 所：九州看護福祉大学

○第3回新人研修会

【生涯学習部】

【変更後】期 日：平成23年10月9日(日)

○第2回学術研修会

【学術部】

【変更後】テーマ：「臨床で活用できる呼吸理学療法・最新の理論と技術」

3) 吸引セミナー報告

【筒井理事】

(筒井)第2回吸引セミナーについて

期日：9月24・25日、場所：熊本大学保健学科、

参加者：48名準備は順調に進んでいる。その他、理学療法士講習会(内部障害・基礎)が10月23日九州中央リハビリテーション学院で開催予定である。

4) ねんりんピックについて 【坂崎専務理事】

10/16：9名 10/17：4名 の協力あり。

ねんりんピック担当者と配置調整中。

(会長) 渉外活動推進特別委員会による報告の通り。

5) かくどけいCD-Rの在庫に関して 【広報部】

(会長) CD-Rの施設への複数枚配布に関してはHPですでに広報。「かくどけい」ページに一般向けにも希望者には配布する旨の記述する予定。在庫が解消される方法は、会員人数によって振り分けるのが現実的と思うが、今回は見送りたい。

6) 「熊本県版SVの手引き」発行における

予算内訳の変更について 【教育部】

<平成23年度計画案>

期日：H23. 4～H24. 3

内容：「熊本県版スーパーバイザーの手引き」

作成及び配布

発信案内分及び冊子を各施設1部ずつ

対象：各臨床実習施設及び養成校

<変更後予算>

印刷費：89,400円 1冊16頁*700部

通信費：36,000円 ¥80*440施設

事務消耗品費：0円 CD-RW非使用

会議費：8,000円 ¥200*8*5回

(坂崎)印刷費に予算が必要となり、内訳が変更。

7) 熊本城マラソン支援について 【坂崎専務理事】

(坂崎) 渉外活動推進特別委員会で報告の通り。

8) 第35回九州理学療法士・作業療法士合同学会 報告 【坂崎専務理事】

(坂崎) 学会期日：24年11月16・17日

会場：崇城大学市民ホール・国際交流会館

準備委員会：23年9月27日(第1回)

内容：学会長(今年度はPT)

副学会長、学術局長、事務局長、運営局長の5名を選出する。できれば第1回・2回の準備委員会で学会テーマを決めたい。

9) 平成24年度事業計画案報告 【学術部】

○学術部事業計画案

テーマ：「膝のバイオメカニクス、運動連鎖を利用した動作分析(仮)」

テーマ：「ボバースアプローチの最新知見(仮)」

テーマ：「肩関節の機能解剖学(仮)」

(大脇) 研修会のビデオ撮影について、今後も撮影を行う予定であるが詳しくは学術部で検討予定。また臨床実習研修会は、教育部で検討をしてもらう予定。専門認定については、10月の会議で次年度の専門・基礎編等の研修会内容について協議。今後は研修内容のスリム化も検討しなければならない。

(前田) 過去に撮影したものの劣化はどうするのか。

(大脇) 今後はHDもDVD化して保存していくよう検討する。

古いテープについては破棄していくことも考えている。

撮影や保管のマニュアルを検討中。

(会長) 計画的に必要な機器の購入も検討するように。

撮っているビデオの会員閲覧は、講師の許可を紙面でもらう等マニュアル化して閲覧可能にして欲しい。

研修会参加者とビデオ研修閲覧者とで参加費などで不利益が生じないように検討する必要がある。

10) その他

(会長) 法人事業審議委員会において、会議遂行上詳しい議事録を審議委員会委員が閲覧できるようにしてもよいか。

(理事) 了承。

2. 協議事項

1) 臨時総会の進行について 【事務局】

(坂崎)

(坂崎) 臨時総会について、開催時刻は19時、開会は大島副会長より。会長挨拶に続き、定足数報告・議長選出までは坂崎事務局長が担当。書記任命・議事録署名人・議事進行は保田氏にて。閉会の辞は前田副会長にて。説明にはプレゼンあり。①公益事業比率を上げる ②保険診療研修会を2回から1回に変更 ③遊休資産の用途を明確化し予算化 ④上記に伴い予算の変更を検討変更の4ポイント明確化。

事業の変更のポイントは①保険診療研修会4月分の開催が中止。10月のみ開催となること。②新人研修会、卒後研修会の開催、分野別小委員会活動が公益事業となることである。予算の変更のポイントは

①収入の部の保険診療研修会回数の減少に伴い収入が120,000円減額することで、事業活動収入計は26,787,00

0円から26,667,000円に変更。②支出の部：保険診療研修会回数の減少に伴い出計は79,500円減額、よって事業活動支出計は26,201,901円に変更となり、収支差額は40,500円減額の465,090円となる。③収益事業等会計の収入の部において研修会事業の一部を公益事業にシフトしたことにより、

4%の公益事業率が上がることになる。

(理事)了承。

(会長)これまでの流れが分からない会員の為に、公益基準の説明をもう一度して欲しい。

(坂崎)了解。

(会長)できるだけすみやかに進めていきたい。何かあれば事務局へ連絡いただきたい。9月末には県に公益法人の申請をしたい。意見が無ければ以上の段取りで承認して欲しい。

(理事)了承。

2) かくどけいCD-R複数枚配布について【広報部】

協会ホームページで複数枚配布の希望を募ったが、希望施設は全くなかった。予備在庫はどうするか。

(会長)施設内の会員数に関わらず1枚配布でよいのか。

1枚ずつ配布の場合、予備在庫はどうなるのか。

(増田)今年度施設1枚配布予定の予算なので、本年度いっぱい施設1枚ずつ配布でもよいのでは。

(会長)来年度はどうするか。確実に余ることが分かっていたら減らしても良いと思うが。

(寺川)HP掲載を知らない人もいるので総会で案内し、もう一度HPに載せてCD-Rを取り寄せることができるという件をアナウンスしてはどうか。

(会長)総会でアナウンスするようにする。HPおよび各施設へCD-Rを配布していることを広報していき、予備在庫を希望する会員がいないか期限を区切り募集をする。

3) 健康の集いについて

【事務局】

日時：10/25(火)12:30~16:30

場所：ウェルパル熊本 1階

内容：健康相談

主催：熊本市中央保健福祉センター

(坂崎)健康相談の対応を1名依頼されている。この場で賛同いただける方は挙手願いたい。

(飯星)挙手。

(会長)飯星理事にお願いする。

(会長)他にも都合のつく方は参加希望を募る。

以上、閉会

★次回理事会：平成23年10月12日(水)

11月書記：川上理事施設担当

平成23年度 臨時総会議事録(要約)

日時：平成23年9月10日(土)19:00~19:31

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席：

(理事)北里・大島・坂崎・前田・飯星・大脇・川上・

三宮・田島・筒井・野津原・野間・増田・光本

(監事)寺川・中島

(議長)保田(公立玉名中央病院)

(議事録署名人)

本田・村上(熊本リハビリテーション病院)

(書記)仙頭(谷田病院)・坂本(阿蘇立野病院)

欠席：(相談役)森重

1. 開会の辞

(大島)各ブロック訪問でも説明した通り、私共は公益法人に向け準備を進めてきた。9月下旬~10月上旬には書類を提出する予定にしており、会員の皆様の意見をお聞きする為に本日は臨時総会を開催させて頂いた。それでは、平成23年度社団法人熊本県理学療法士協会臨時総会を開催する。

2. 会長挨拶

(会長)今日の臨時総会は来るべき公益法人化に向けた手続きの申請書類を整えるための総会である。明日9月11日はアメリカ同時多発テロから10年目、東日本大震災から半年の節目の日になるが、節目は今までの歩みを振り返りこれから進むべき方向を考える重要な時。公益法人の申請をする我々熊本県理学療法士協会にとって節目にさしかかっている時と考える。今日の総会を契機に今までの協会の動きを顧みると同時に、今後どのような方向に進むべきかを考える機会にできればと思う。「かくどけい」が今年度からCD化され各施設に1部ずつ配布された。施設によっては理学療法士が多く1枚では足りないとの意見がある。ホームページ(HP)で案内した通り、複数枚配布も可能であり必要な施設は申し出てほしい。また、HPの一般向けスペースに「かくどけい」

を掲載しておりCDが無くともインターネット環境があればいつでも閲覧が可能である。ただし、CD化に伴い“いつでも見られることで、情報を覧なくなるのでは”との危惧を抱いている。この節目を境に協会がどのような方向に動いているのか、様々な情報を正確にタイムリーにHPで発信していくので、是非こまめにHPを見て頂き、今後の協会の方向性に関心を持って頂きたい。今日は公益法人を取得するにあたり大事な総会となるので活発な議論をお願いしたい。

3. 定足数報告

(坂崎) 現在会員数が1,685名、出席106名、委任状963名。1,069名分の出席・委任状となり定足数を超え総会が成立することを報告する。

4. 議長選出

(坂崎) 出席の会員の方で議長を引き受ける方がおられれば挙手をお願いしたい。挙手が無いので執行部の推薦でよろしいか。

(会場) 一拍手・承認一

(坂崎) 公立玉名中央病院の保田氏に議長をお願いしたいがよろしいか。

(会場) 一拍手・承認一

5. 書記任命

(保田議長) 円滑な進行にご協力をお願いする。次第に沿って進めたい。フロアから書記を引き受けてくださる方があれば挙手を。挙手が無いので私から谷田病院：仙頭氏、阿蘇立野病院：坂本氏を推薦する。

(会場) 一拍手・承認一

6. 議事録署名人任命

(保田議長) フロアから議事録署名人を引き受けてくださる方があれば挙手を。挙手が無いので私から熊本リハビリテーション病院：本田氏と村上氏を推薦する。

(会場) 一拍手・承認一

7. 議事

1) 第1号議案：

平成23年度事業計画・予算に関する件

(坂崎) 第1号議案平成23年度事業計画・予算の変更について説明する。法人に向けての準備の中で、事業内容の

組み立てがこれまでと変わった点を説明したい。

事業内容は『公益事業』と『共益事業』の2本立てとなっており、「公益事業1」は「県民の医療保健福祉の向上に資する事業」で県民向けに展開する事業である。例えば、「PTあ！」と健康講座・市民公開講座・福祉研修会・介護教室等がこれにあたり通称「公1」と呼んでいる。

「公益事業2」は「医療保健福祉関連団体との協力連携に関する事業」で、健康フェスティバルや市町村からの委託事業等を「公2」と呼ぶ。

「公益事業3」は「医療保健福祉関連職種の資質向上に資する事業」で、県学会・学術研修会等を「公3」と位置づける。

それ以外に、『共益事業』として「会員の資質向上のための事業」があり、新人研修会等がこれにあたる。その他、「本会の目的達成に必要な管理運営」として会費管理・文書管理といった事務業務、総会・理事会の開催準備等が管理に関するものとなる。以上のように事業を補正した。

今年の3月に承認頂いた平成23年度事業計画・予算案の変更ポイント4点について説明したい。

- ①公益事業費率を上げるための事業内容の見直しと変更を行った。県庁との調整の中で新人発表会、卒後教育研修会、小委員会活動の一部は公益性の事業としての位置付けが調整できたので共益事業から「公益事業3」へ移行した。
- ②保険診療研修会は2回開催予定であったが、講師の体調不良に伴い開催を1回へ変更した。
- ③公益法人では遊休資産が一定額を超えることができない規定に従い、会館設立への準備資金に当てる方針を明確化した。
- ④上記①～③の変更に伴い、収支予算書並びに収支予算書内訳書を変更した。以上4点の変更の結果、公益比率が57.9%となる。

平成23年度の事業内容は3月総会で承認頂いているので、上記4点の変更点を中心に説明する。事業に係わる場所では、資料3ページ目：保険診療研修会の開催を理事会承認の上2回から1回へ変更している。12ページ目：新人発表会、卒後教育研修会、分野別小委員会の3つの事業は、3月総会の承認時点では共益事業となっていたが、今回「公益3」への事業見直しを行った。この2点が事業に関する変更点となっている。

続いて、予算関連22ページの収支予算書の事業活動収支の部・事業収入の研修会事業収入が、保険診療研修会の中止に伴い120,000円減額の5,695,000円に変更。事業活動収入総額が26,667,000円となった。また、事業活動支出についても保険診療研修会の開催中止に伴い支出額79,500円減額となり総額17,015,608円に変更。23ページの事業活動収支差額のところでは、40,500円減額の465,090円に変更となる。以上が保険診療研修会の中止に伴う変更点。

23ページの投資活動収支の部において、理学療法士協会会館取得積立預金の額面を理事会で十分協議した結果、遊休資産のうち協会会館取得に掛かる予算として25,000,000円を積立金として追加。これにより遊休資産の用途を明確にした。

予備費も事業活動収支差額の変更に伴い40,500円減額の465,090円となる。以上が収支予算書の変更点。

次は資料末尾にある公益法人申請に係わる収支予算書内訳表の変更点について説明する。一番左の縦枠が「公益1」、2列目「公益2」、3列目「公益3」となっている。一般正味財産増減の部の経常増減の部の収益について、「公益1」に属する第1回保険診療研修会の中止により研修会事業収入が120,000円減額し495,000円に変更。また「共益事業」から「公益3」へ3事業を振り分けたことで、3列目の「公益3」へ580,000円が移行し、それぞれの経常収益計が変更されている。

下段の支出の部分の経常費用だが、収入の部分と同じく「公益1」が保険診療研修会の中止により79,500円減額。また「共益事業」から「公益3」への3事業振り分けに伴い直接事業費846,800円+管理費配賦313,308円が移行した。このことで公益事業比率を53.9%から60%に近づく57.9%へ増加させることができた。

総会承認を頂ければ、公益法人の電子申請へと運び、審査会を経て公益法人化手続きを進めたい。電子申請については委員会にて、概ね8割の書類ができており、次の手順に進むところである。以上、変更点について説明させて頂いた。

(保田議長)フロアから質問は無いかな。無ければ承認の方は挙手をお願いします。

(会場) 一挙手数の確認—

(保田議長)フロアの91名全員の挙手を確認。第1号議案は承認された。

続いて、その他、フロアから何かないかな。

(江藤保険部長)研修会前に体調不良となり、保険診療研修会が中止となり大変申し訳ない。

(保田議長)他に無ければ議長解任に移る。

8. 議長解任

(保田議長)これにて議長を解任させて頂く。

(会場) 一拍手—

(坂崎)保田議長ありがとうございました。また、忙しい中、出席頂いた会員の皆様には感謝する。法人化に向け次のステップに進めると同時に、執行部一同うれしくも責任の重さを感じている。法人に向けての準備の進行に関しては、今後HPや「かくどけい」を通じて皆様にお伝えする。

9. 閉会の辞

(前田)第1号議案の承認をいただき感謝する。最終段階なので、9月末の法人申請に向け漏れが無いよう進めていきたい。これを持って、平成23年度社団法人熊本県理学療法士協会臨時総会を閉会する。

以上、閉会

平成23年度 第8回理事会議事録(要約)

日時:平成23年10月12日(水)19:00~20:30

場所:熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者:

(理事)北里・大島・前田・坂崎・飯星・川上・三宮・

田島・筒井・増田

(監事)寺川・中島

(事務局員)山本・坂本

(事務職員)石黒・前田

(部長)今屋学術部長

欠席者:(理事)大脇・野津原・野間・光本

(相談役)森重(事務局員)福島・久米野

書記:金子・山下(菊南病院)

1. 報告事項

1) 特別委員会報告

◇公益法人対策特別委員会

県に確認し、一部修正で申請可能な段階である。

◇情報共有推進化特別委員会

システム改善に対する要望がまとまりつつある。査読シ

システムの仕様の検討と開発のスケジュールについては、今回の修正を踏まえ最終確認する予定。

◇訪問リハ対策特別委員会

特になし。

◇渉外活動推進特別委員会

ねんりんピックの人員配置が決定した。

◇組織検討特別委員会

10月20日に会議予定。専門領域と分野別委員会を県の組織にどういう風に取り込むかを話し合う予定。

2) 平成23年度研修会等の変更について

○第1回保険診療研修会 【保険部】

【変更後】期 日：平成23年10月12日(水)

○県協会杯グランドゴルフ 【事業部】

【変更後】期 日：平成23年10月30日(日)

場 所：富合町雁回公園

○第2回ブロック長会議 【ブロック】

【変更後】期 日：平成23年11月26日(土)

場 所：熊本駅前看護リハビリテーション学院

○玉名市健康食育福祉フェア 【県北ブロック】

ねんりんピックの開催に伴い、中止。

○管理者教育カリキュラム(第3クール) 【教育部】

【変更後】講 師：松本一喜氏(松本経営事務所)

※10/20(木)

坂本純夫氏(坂本労務経営事務所)

※10/21(金)

吉田道夫氏(熊本大学)

○第1回小児勉強会 【小児領域小委員会】

【変更後】期 日：平成23年10月30日(日)

場 所：九州中央リハビリテーション学院

テーマ：「今すぐ行える

小児リハビリテーション」

講 師：藤本茂雄、増岡鮎美、浪本正晴

：全て原案どおりの変更を確認、承認。

3) 演題数について 【天草ブロック】

現在32題の演題登録があり、3会場6セッションで行う。座長は現在選定中。

4) 研修会開催に対する対応について 【野間理事】

県医師会は来年3月頃阿蘇で研修会を開く予定。PT・OT・STなどリハ関連職種の協力を仰ぎたいとの事。 ※詳細は文書が届き次第提出。

5) 事務局業務の見直しについて 【坂崎事務局長】

監事からの事務局業務の簡素化を行うようにとの指導に基づき、

- ・理事会資料について。
- ・事業計画の変更手続き
- ・受信物及び資料の確認
- ・公文書の確認
- ・公印省略による公文書発行について
- ・保管書類 等について、報告あり。

6) その他の報告事項

小児領域小委員会で小児施設のマップを作成しているが、熊大のDrが共同でマップを作成がしたいとの提案あり。

2. 協議事項

1) 第2回学術研修会予算変更について 【学部】

①講師の勤務先変更に伴い、交通費は変更となる。

②講師より研修会開催日前日より熊本入りしたいとの申し出があった。そこで、現在宿泊費1泊分の予算であるが、これを2泊分に変更したい。

：交通費の変更に関しては承認。宿泊費の予算は変更なし。

2) 熊本城マラソンについて

【渉外活動推進特別委員会】

どういう活動を、どれだけの人員で行いたいという意向をこちらから伝えて行く方針で対応する。

ボランティアの時の相手(選手)に対しての保険について市の実行委員会に確認すると同時に、賠償保険会社にも確認・交渉する。

3) ねんりんピックについて

【渉外活動推進特別委員会】

13名の動員が決定。動員される人に謝金を出したい。

：承認。

4) 包括的会員管理システムについて【北里会長】

12月3日に実務者に対して説明会がある。内容を確認の上、質問などがある場合は12月3日までに全国協会事務局に質問してほしい。

: 実務者を中心に、生涯学習部も含めて出席者2名を検討したい。

5) 医療・介護保険改訂に関する実態調査について【北里会長】

当協会からも医療保険施設、介護保険施設それぞれ5施設ずつの推薦が必要。

全国協会の調査部から医療・介護保険改訂に関する実態調査について、各都道府県理学療法士会から10施設(医療保険5施設、介護保険5施設)協力施設を推薦依頼あり。

: 会長が直接施設へ依頼するという方法をとる。

6) 職能局 管理者ネットワーク委員会主催
研修会への参加について【北里会長】

: 11月のかくどけいを発送する際に、案内文を同封することで対応。

7) 「山口和之全国後援会」組織づくり・入会勧誘活動について【北里会長】

: 連盟と共同で後援会組織を作る。

8) 県学会の周知について【天草ブロック】

かくどけいが本年度よりCD-Rになったため県学会などを含め内容を見ていない会員もいるのではないかと?

各施設1部でも冊子での配布があった方がよいのではないかとと思われる。

: こういう意見があることを次回拡大理事会で広報部に伝える。会員がホームページやCD-Rなどで情報収集するように周知徹底するように繰り返しアナウンスすることで対応する。

9) 市民公開講座の講師選定について【天草ブロック】

県学会の市民公開講座の際に震災ボランティアの報告を加えてよいか。

: 承認。

10) 学会予算について【天草ブロック】

市民公開講座について予算変更をしたい。

: 変更は内訳の変更であり、全体の予算に変更はない。承認。

11) 査読システムの延長について【天草ブロック】

査読システムが当初の予定では10/15までにできるとの事であったが、12月初旬にずれ込むようである。そのため、会の運営上査読が進んでいない状況である。今後この様な事がないように業者を含めIT事業部にもシステムの検討をお願いしたい。

: 情報共有推進化特別委員会、IT事業部の方にはこういう意見が来たということを報告する。学会の委員にも査読委員の選定などで対応し、すぐに運用ができるよう準備してもらおう。なお、査読システムは11月始めより運用可能である。

12) 連携学会におけるシンポジストの選出について【野間理事】

訪問リハ対策特別委員会よりシンポジストの選出をお願いできないか。

: 次回のシンポジウム内容を確認した上で、対応。

13) 平成23年度上半期監事監査日程について【北里会長】

: 10月28日(金)18時。

14) その他

県や市町村に対しての請願、要望等の意見を吸い上げるシステムを作り、それを県市町村に提案して反映させていくシステムを構築したいと考えている。

以上、閉会。

★次回理事会: 平成23年11月2日(水)
(拡大理事会・第9回理事会)
第9回理事会(11月)書記調整: 川上理事
第10回理事会(12月)書記調整: 三宮理事

各部・委員会報告

生涯学習部

部長 星澤 厚志

※次年度からの生涯学習システム変更について

JPTA ファックス通信でもお知らせがありました通り、次年度から生涯学習システムの変更がなされそうです。会員の皆様には混乱が生じないように、正しい情報を基に対策をこうじていきますので、詳しい内容については、まとまってからご連絡いたします。安心して情報をお待ちください。

※新人教育プログラム修了について

修了処理が滞っておりご迷惑をおかけしています。研修会事業が済み次第、作業に入りますので今しばらくお待ちください。なお、新人教育プログラム修了に関するお問い合わせはメールにてお願いいたします。

※メールアドレスが変わります！！

システム上の都合により、を変更させていただきます。今後はこちらのアドレスにご連絡ください。

生涯学習部専用アドレス kpta.lld@gmail.com

規約審議委員会 委員長 溝田 康司

今回の活動内容について報告させていただきます。

<2011年9月2日>

①事務局より1)平成22年度規約審議委員会報告、2)分掌規程、3)平成23年度事業計画及びその他、提出種類等に関する資料送付および申し送り

②会長より今後の検討事項の予定について情報提供
<2011年9月5日>

①永崎前委員長よりこれまでの委員会活動について申し送り

※上記についてはいずれもメールによるもの

<2011年9月27日>

①備品台帳及び②上半期報告書、③委員名簿を事務局へ提出

<2011年9月28日>

①部長会議出席、②自己紹介とこれまでの報告、今後の予定を報告

現状では当委員会に諮問された事案はないため委員会開催等の予定はありませんが、報告については必要に応じて順次行っていきたく思っております。

渉外部

部長 坂崎 浩一

ねんりんピック 2011 熊本

去る10月15日～18日県内各地で開催されたねんりんピック 2011 熊本において、健康づくり教室に参加した。実働した16・17日の2日間。熊本市各保健福祉センターとの連携のもと、北里会長・中島監事他のべ14名の会員協力を得、健康相談・運動指導等を実施した。

熊本城マラソン支援 … 現在準備中

来る平成24年2月19日開催予定の第1回熊本城マラソンを支援すべく、スポーツ小委員会とも調整をはかりながら現在準備中である。協力頂ける会員の方は事務局まで是非ご連絡を！

福祉部

部長 木原 伸一

今後の福祉部の活動について報告します。

介護保険領域における研修会を、「介護保険領域における起業や展開について」というテーマで平成24年2月4日(土)九州中央リハビリテーション学院において開催します。講師は「(株)誠和医科学 塩中 雅博先生」です。医療・介護保険制度改定前のホットな情報や、最前線で展開されている塩中先生に、どんな戦略や展開を図られているのか、などをお話しいただけたらと思っています。今後の私たちの展開や展望についてぜひ皆様と一緒に考える機会になればと思っていますので、多くの皆様方のご参加をお待ちしています。

表彰審査委員会 委員長 山下 智弘

表彰審査委員会では、各種団体・自治体等外部よりの表彰推薦依頼や日本理学療法士協会・熊本県理学療法士協会会員の各種表彰のための推薦根拠となる、資料の作成・管理をおこなっております。

ご案内が大変遅くなりましたが、平成23年度新規入会の会員さまを対象とした「表彰に関するデータ入力」ならびに、2年に1度実施しております、全会員さまを対象とした「表彰に関する資料データの更新」を実施します。

昨年度までは、調査用紙を配布・回収し資料を作成しておりましたが、本年度より、熊本県理学療法士協会のホームページより、「本人が直接入力」していただくことになりました。したがって、熊本県理学療法士協会のホームページにて「ログイン申請」し手続き終了後 **ログイン** ⇒ **会員 MY メニュー** ⇒ **表彰管理** ⇒ **各種フォームへ入力** をお願い致します。

入力に際しましては、入力項目および入力時の注意点を参考にご入力お願い致します。

<入力項目および入力時の注意点>

1：本籍の項目

⇒『本籍』をドロップダウンの項目より選択して下さい。

2：休会の項目

『休会経験の有無』にチェックを入れて下さい。

⇒休会経験：『有』の方のみ、休会期間を入力下さい。

3：学歴および職歴の項目

『学歴』

⇒○年○月および高等学校卒業より以降について入力下さい。

『職歴』

⇒職歴のある方は、入力下さい。

4：学術事業に関する業績の項目

『学会業績の有無』にチェックを入れて下さい。

⇒『各種学会回数』の欄には、「主演者」の回数を入力して下さい。

⇒『学会その他』の欄には、座長・シンポジスト・コメンテーター等の経験について具体的に入力して下さい。

『講習会等講師の経験の有無』にチェックを入れて下さい。

⇒講習会講師等の回数ならびに講習会名を入力して下さい。

⇒『論文数』の欄には、筆頭執筆者での回数のみを入力して下さい。

『著者活動の有無』にチェックを入れて下さい。

⇒『著作署名』、『著作出版社』を入力して下さい。

⇒『著作状況』の欄には、単独執筆あるいは共同執筆の別を選択して下さい。

5：役員等の経歴の項目

『役員経験の有無』にチェックを入れて下さい。

⇒『役員経験《熊本》』の欄には、役員・部員・委員・ブロック長、学会・研修会役員等の経験について入力して下さい。

⇒『役員経験《全国》』の欄には、役員・部員・委員・代議員、学会・研修会役員（全国・九州地区）等の経験について入力して下さい。

6：所属する学会・研究会等の項目

『所属する学会・研究会等』の有無にチェックを入れて下さい。

⇒『有』の方のみ、入会年度および名称を入力して下さい。

7：教育に関する経験の項目

『常勤講師および非常勤講師』の有無にチェックを入れて下さい。

⇒『有』の方のみ、「勤務先」・「講義名」・「経験年数」を入力して下さい。

『臨床実習指導経験』の有無にチェックを入れて下さい。

⇒『有』の方のみ、「経験年数」を入力して下さい。

⇒『臨床実習指導経験』の欄は、実務経験3年以上で、スーパーバイザーの経験をお持ちの方のみ入力して下さい。サブバイザー、ケースバイザーは該当しません。

8:『その他』の項目

『免許・資格』の有無にチェックを入れて下さい。
⇒『有』の方のみ、「取得年度」、「免許・資格の内容」
を入力して下さい。

⇒学位等も内容の欄に入力して下さい。

『賞罰』の有無にチェックを入れて下さい。
⇒『有』の方のみ、「年度」、「賞罰の内容」を入力し
て下さい。

ただし、施設内のものは除外します。

各自、熊本県理学療法士協会のホームページによ
り『ログイン』され、平成23年12月31日までに、
入力いただきますようお願い致します。

<入力に関する問い合わせ先>

〒869-0502 宇城市松橋町松橋 1445 番地 1

宇賀岳病院 リハビリテーション部

TEL: 0964-32-3111 (内線: 695)

E-mail: ugadake-rihashien@reimeiki.jp

担当: 山下 智弘

学術事業部 部長 岩田 輝彦

来年2月19日に行われる、第16回熊本県理学療法
士学会の会場におきまして、書籍の貸し出し事業を行
います。皆さん、県学会に参加して学術書籍を借りま
しょう。御来場をお待ちしております。

保険部 部長 江藤 隆夫

去る10/12、平成23年度第1回保険診療研修会を
開催致しました。66名(会員63名、会員外3名)、
理事1名、部員14名の参加でした。

一昨年改正された介護報酬内容について一通り復習
(居宅サービスについて坂本副部長・施設サービス
について光本理事が講義)を行いました。会場で頂
いたご質問については、適宜電話でご返答致してお
ります。

今年度の研修会はこれで終了です。来年は診療報
酬・介護報酬同時改正の年、来年に向け部員一同情
報収集に努めて参ります。

今回も多数のご参加ありがとうございました。

調査資料部

部長 岸本 稔

現在、調査資料部は熊本県下の理学療法士需給調
査を行っております。対象期間は平成21~23年。県
下の養成校を卒業した卒業生を対象としております。
調査内容がまとまりましたら皆様に広報しようと思
っております。今しばらくお待ちください。

宣伝部

部長 草野 隆夫

9/7(水) 17:30~ 宣伝部会議 参加者: 12名
○熊本市健康フェスティバルでの啓発活動について
平成23年10月15日(土)・16日(日)

- ・協会のパンフレットの配布
- ・理学療法や理学療法士についての質問に対する返答
- ・協会が実施しているイベント(体力測定コーナー)への勧誘
- ・その他(体力測定コーナーの参加者が多いときは、会員の協力をする)

《担当者》

10/15 AM 佐田 木下 PM 佐田 大平

10/16 AM 浦田 井拓也 PM 染田 志賀

10/15(土)・16(日)

○熊本市健康フェスティバルでの啓発活動

《担当者》

10/15 AM 佐田 木下 PM 佐田 大平

10/16 AM 浦田 井拓也 PM 染田 志賀

土曜日は天候のせいであまり多くはなかったが、日曜日は天気にも恵まれ、多くの方々が体力測定に参加された。パンフレットの配布ではなく、体力測定コーナーの手伝いが主になっていた。今後は、コーナースタッフの増員を検討したほうが良いかもしれない。

ユニホームの貸し出し

9/10・11 第1回学術研修会

10/15・16 熊本市健康フェスティバルの体力測定コーナー

10/30 事業部: グランドゴルフ大会

こんにちは。教育部部長の前田です。今年は11月というのに夏があったり、雨が続きたりと、なかなかお天気が安定しませんね。皆様いかがお過ごしでしょうか？

さて、教育部では、10月に管理者教育カリキュラム第3クールが終了し、残すところ12月最終クールを待つのみとなりました。また、卒後教育研修会が随時各ブロック・各地区で開催され、段々と、卒後教育も県内に定着しつつあると感謝いたしております。さらに先日、平成23年度九州ブロック臨床実習指導者研修会が、当教育部臨床実習教育班の担当で歳々され、九州各県から多数のご参加をいただき、盛況のうちに終了できました。ご協力、本当にありがとうございました。では、毎度恒例になりましたが各班の活動情報です。

◎卒後教育班：各ブロック・地区では随時卒後教育研修会（初級編・中級編）が開催されております。卒後教育班では、各ブロック・地区の皆様によりスムーズに研修会を開催・受講していただけるようにする為、開催担当の皆様と連絡を取り合っております。お忙しいとは存じますが、こちらのほうへも是非ご参加下さい。また、いろいろとご意見がありましたら、今後の参考にいたしますので、ぜひ協会ホームページのお問い合わせフォーム、もしくは下記E-Mailアドレスへお寄せ下さい。

◎臨床実習教育班：「熊本県版スーパーバイザーの手引き」が9月の末に発送され、皆様のお手元に届いたと思います。各施設1部の配布ですが、協会ホームページより.pdfにてダウンロードできますので、ぜひ一読いただき、臨床実習教育の参考にいただければと思っております。ご意見もどしどしお寄せ下さい。皆様の力で、この手引きを育てていただければと思います。よろしくお願い致します。また、平成24年1月22日（日）に行います、平成23年度臨床実習教育研修会研修会の申込フォームをホームページにアップしました。昨年、一昨年同様、星城大学の川大裕行先生をお迎えして、スーパービジョンを中心に臨床・養成校双方の視点で臨床実習教

育のあり方についてお話いただきます。詳細は同封の案内をご参照下さい。多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。

◎管理・運営教育班：10月20日（木）～21日（金）に管理者教育カリキュラム（第1ステージ）第3クールが開催されました。20日は懇親会を開催し、受講者と講師合わせて20名の皆様で交流を深めました。20日午後は松本一喜先生（松本経営事務所）に「理念→方針→組織→人事の関係性」について。21日午前は坂本純夫先生（坂本労務経営事務所）より「目標管理」について、経営労務の視点からお話しいただきました。また21日午後は吉田道雄先生（熊本大学）より「グループ・ダイナミクス（後編）」を行っていただき、前編で出された宿題をもとにリーダーシップの新たな目標設定を行っていただきました。受講者の皆様も大変満足いただけたのではないかと思います。次回は最終クールです。今後も良い学びを提供できるように運営してまいります。また、第2ステージの計画も徐々に進行し始めております。ぜひ受講したいという項目等ございましたら、どしどしご意見下さい。

☆もう覚えていただけましたか？教育部のビジョンは...

- 現状における臨床実習教育の課題を抽出し、標準的指導指針を模索する。そのテキストとして、日本理学療法士協会発行の臨床実習の手引き（第5版）を用い、養成校、臨床実習施設の共通目標を確認する。
- 理学療法士としての専門的知識や技術の重要性もさることながら、卒前教育の限界と卒後教育での課題と思われる、基礎的な項目の習得の一助となる教育システムの構築を行う。
- 上記内容を把握し、人材（財）育成、組織的管理のできる管理者を育成し、理学療法士の職域拡大や就労後の教育レベルの向上を図る。

教育部に対する、ご意見・ご要望等ございましたら、私（前田） rptmaeda@yahoo.co.jp までご連絡下さい。よろしく願いいたします。

秋も深まり季節は冬に向かっております。これから感染症との闘いの本番を迎えます。会員の皆様には患者様の体調管理はもちろん、ご自身、ご家族の体調管理、感染対策に充分ご留意下さい。

今年度の学術研修会も1回の事業を残すのみとなりました。第3回の学術研修会に関しましては全国的にも著明な先生をお招きしております。募集枠も大幅に拡大しておりますので、ご希望の方はお早めにお申し込みいただきますようお願い致します。それでは、現在までに開催されました研修会の報告ならびに今後開催予定の研修会についてご連絡いたします。

【終了報告】

○第1回学術研修会

期 日：平成23年9月9-10日（土、日）

テーマ：運動器疾患におけるクリニカル
リーズニング

講 師：亀尾徹先生（新潟医療福祉大学）

会 場：九州中央リハビリテーション学院

受講者：46名（会員45名、会員外1名）

所 感：参加者は県外理学療法士1名を含む46名と定員を超える人数でした。今回はクリニカルリーズニングに関するテーマということもあり、通常よりも参加者の経験年数の豊富なセラピストの参加が多く、関心の高さが伺えました。講義形式はワークショップや実技がふんだんに盛り込まれ、参加型であったためクリニカルリーズニングの思考過程を十分学ぶことができ、より理解が深まるものでありました。理学療法に対してエビデンスが求められる昨今、「クリニカルリーズニング」という言葉を見聞きすることが多くなりました。今回の講義では、その概念から臨床へのつながりまで、事例を交えながら具体的に解説していただきました。アンケートには「内容に対して時間が短かった」、「1.5日では時間が足りない」など満足を頂く声が多数あり、クリニカルリーズニングの概要とその必要性を伝えるという意味では、とても有意義な研修会になったのではと思われれます。



【今後の予定】

○第2回学術研修会（済み）

期 日：平成23年11月5-6日（土、日）

テーマ：「臨床で活用できる呼吸理学療法・最新の理論と技術」

講 師：堀江淳先生（神戸国際大学理学療法学科）

会 場：九州中央リハビリテーション学院

対 象：医療関係職種

定 員：55名

※本研修会はすでに終了しております。終了報告は次回のかくどけいに掲載させていただきます。

○第3回学術研修会

期 日：平成24年1月29日（日曜）

テーマ：「セラピストのための脳・神経科学」

講 師：高草木薫先生（旭川医科大学 脳機能医工学研究センター 教授）

会 場：熊本保健科学大学

対 象：医療関係職種 定 員：120名

※お申し込みはHP上ですべて行えます。案内にはHP申し込みフォームと電子メールで直接申し込む方法と2通り提示しておりますが、事務処理上できるだけHPからの申し込みをしていただきますようご協力お願い申し上げます。ご不明な点は随時受け付けておりますのでお気軽にご相談下さい。

こんにちは事業部長の保田です。

事業部では11月12日にグラウンドゴルフ大会を終えて今年度の事業を終了しました。

グラウンドゴルフ大会は今年初めての試みだったのですが約170名の方に参加いただき、大変大盛況で「来年も開催してください」との声もいただいております。

グラウンドゴルフの印象といえば、高齢者の方たちが早朝（私の出勤時には解散して帰る位の時間）に集まって行っている程度の印象しかなかったのですが、実際一緒にプレーさせていただくとボールのところまで小走り？駆け足？足歩？様々ですがとにかく良く動かれる。快晴に恵まれたこともあったのですが11月に汗をかくとは・・・思ってもいませんでした。病院でばかり勤めているためかこんなに元気な高齢者がこんなにたくさんいらっしゃるとは正直ビックリ\(\textcircled{o}\textcircled{)}\!/！しました。また身体機能測定も30名ほど測定させていただきました。今後もデータを収集し運動と身体機能の推移の関係性など研究できればと思っております。大変好評で来年も引き続き5月に富合町にて開催する予定としております。近隣の病院スタッフの方は富合町民の方と触れ合うチャンスです！事業部員に限らずどなたでも参加していただいて構いませんので『協力したい』『参加したい』という方はぜひご連絡ください。よろしくお願いたします。

事業部ではグラウンドゴルフ大会以外にも『くまもと「PTあ！(ぴあ)」っと健康講座』、『介護支援専門員受験対策講座』を行っております。その中でも『PTあ！っと健康講座』は来年で10回目を迎えます。詳細はまだお知らせできませんが**H24年8月5日(日)**崇城大学市民ホールにて医療関連職種向け講演と、著名人を講師にお招きして記念講演を行おうと計画しております。皆さんに協力をお願いしますので声がかかった場合にはぜひ協力お願いします。



学術事業部 文献紹介

『ハート先生の心電図教室 不整脈編』

最初の一步』

編集:心臓病看護教育研究会

医学同人社

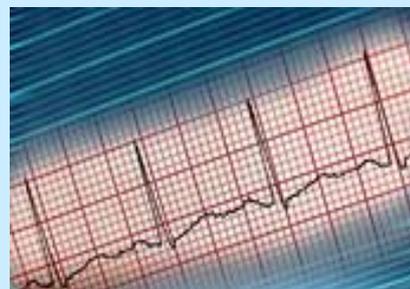
このハート先生の心電図教室はシリーズとなっている書籍で、同時に心電図セミナーで使用されている教科書でもあります。その中でも本書は、特に心電図セミナーの不整脈編で使用する教材として制作されたもので、モニター心電図を中心として、その波形変化からどのような不整脈が考えられるかについての要点がまとめられています。

この書籍は、不整脈心電図波形の特徴を述べるだけでなく、その時々、特に電氣的な興奮がどのような変化をし、かつ、それによって心電図波形がどう変わっていくのかを、イラストを中心に可能な限り解り易く解説されています。

さらに、実際のモニター心電図波形を観察した場合、どのように見えるのかという点をつかみやすくするため、実際の波形の様子がイメージしやすいように工夫されています。また、不整脈が生まれた場合の心電図の様子と血圧の関係をつかんでおくことから、その時の症状との関連や緊急性の有無についての判断もしやすくなるため、心電図波形と同時に、その時の血圧波形も併せて載せてあります。

とても解り易いので、心電図を学ぶための導入にはもちろんですが、各不整脈の説明の他に、不整脈の危険度が分けて載せてあるため、すぐに臨床に活かせる一冊であると思います。

(文責 内田奈津子)



事務局だより

〒861-8045 熊本市小山2丁目25-35
熊本総合医療リハビリテーション学院内
TEL/FAX 096-389-6463
Eメールアドレス kpta_kat@mtg.biglobe.ne.jp
ホームページ http://www.kumamoto-pt.org/

会長行動録

- 09/07 熊本市介護認定審査会：熊本市西保健福祉センター
- 09/07 第7回理事会：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 09/10 第1回学術研修会挨拶：九州中央リハビリテーション学院
- 09/10 臨時総会：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 09/13 熊本訪問リ研修協議会：介護老人保健施設清雅苑
- 09/16 組織検討特別委員会
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 09/21 熊本市介護認定審査会：熊本市西保健福祉センター
- 09/27 九州理学療法士・作業療法士合同学会実行委員会
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 09/28 第2回部長会議：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 09/29 法人事業審議委員会：菊南病院
- 10/05 全国会長会議：甲府市
- 10/12 第8回理事会：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 10/15 熊本機能病院創立30周年記念祝賀会
：ホテル日航熊本
- 10/16 ねんりんピックくまもと2011
：熊本県立総合運動公園
- 10/17 ねんりんピックくまもと2011
：熊本県立総合運動公園
- 10/19 熊本市介護認定審査会：熊本市西保健福祉センター
組織検討特別委員会
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 10/21 熊本市地域リハビリテーション協議会委員総会
：熊本市医師会館
- 10/23 理学療法士講習会(基本編)挨拶
：九州中央リハビリテーション学院
- 10/28 リハビリテーション・ケア合同研究大会：ホテル日航熊本
- 10/28 上半期事業監査：協会事務所
- 10/29 熊本地域リハビリテーション支援協議会総会
：熊本県医師会館
- 11/02 第2回拡大理事会・第9回理事会
：熊本総合医療リハビリテーション学院

会員数(H23.10.31現在)

賛助会員10社 休会会員147名

ブロック名	施設数 ()の自宅会員数を 含んでいます。	会員数
熊本市	254(52)	1152
県北	63(11)	193
八代	71(9)	220
天草	36(1)	82
県南	16(1)	39
合計	440(74)	1686

掲示板

- 日本理学療法士協会の新システム移行に伴い、会員番号が8桁になりました。今年10月下旬に熊本県理学療法士協会会員名簿を送付しておりますのでご確認下さい。
- 「県外異動」、「入会」、「休会」、「復会」、「退会」に関し熊本県理学療法士協会書式による書類の提出が必要です。
各種届出書式に関しましては、熊本県理学療法士協会会員名簿をご参照下さい。ご不明な点は事務局までご連絡下さい。
なお、書式は当協会ホームページよりダウンロード可能です。ご活用下さい。
- 平成23年度会費納入について
今年度も会費未納の方が、多数いらっしゃいます。未納の方へは個別に納入のご連絡をさせて頂くこととなりますので、まだの方は、速やかに手続きをさせて頂きますようお願いいたします。なお、ご不明の点は事務局までお問い合わせ下さい。

会費銀行振込先

振込先：肥後銀行 託麻東支店
口座：普通 205019
金額：22,000円
名義：社団法人
熊本県理学療法士協会
理事 北里堅二
電話：096-389-6463
住所：熊本市小山2-25-35





八代ブロック

塚島 靖博

11月になると鍋がおいしい季節ですね。最近ではモツ鍋にはまっています。鍋にもいろいろありますが、三男はすき焼き、妻はシンプルにほうれんそうと豚のしゃぶしゃぶ、湯豆腐もいいですね。じっくり煮込んだおでんも、焼酎がすすみます。

さて、八代ブロックの活動としては、県南ブロックと共同開催で、学術部卒後研修会中級編 全人間的アプローチと危険予知トレーニングを、11月6日 八代総合病院で開催いたしました。参加者は県南ブロックから6名、八代ブロックから11名で、各々15名ずつの参加がありました。2年目を中心とした各グループでしたが、役割分担も自分から積極的に挙手！意見も活発に出ていて、県南ブロック長の新穂先生と今後が期待できるね、さすがだねと話したところでした。アンケートでは各施設での危険予知トレーニングが無いところがほとんどで、インシデントをミーティングなどでのスタッフ間で共有することが大事ですよ。ファシリテーターの先生方お世話になりました。

今後の予定としては、24年1月15日に松橋地区で症例検討Ⅱが開催されます。人吉地区・八代地区でも調整中です。

鍋もおいしい季節ですが、先日インフルエンザの予防接種をしてきました。リハビリをしていた患者さんが、2週間後に結核と分かり関係職員ツベルクリン反応の検査を実施することになり、いつどこで何に感染するか分かりませんね。手洗いなどが感染対策しっかりしていきましょう！

県南ブロック

新穂 大輔

肌寒い日や暖かい日など混ざり合い、山肌も色づくタイミングを迷っているのではないかと思われる今日このごろ、会員のみなさまいかがお過ごしでしょうか。タイの洪水で日本企業の工場が浸水し生産中止を余儀なくされていたり、円高も進みついに戦後最高値の75円台にまで突入しました。ヨーロッパの経済不安など、最近もあまり良いニュースを聞くことがなく今後も先行き不安な印象を受けます。スポーツに関してはプロ野球のクライマックスシリーズや日本シリーズがあり、少しずつ一年の終わりをを感じる季節となってきました。

さて、最近の県南ブロックの活動ですが、10月29日(土)に近年定例としている外部講師による研修として、熊本整形外科病院の松原淳一PTをお招きして、「下肢運動器疾患の急性期リハビリテーション」についての勉強会を開催いたしました。TKAやACL損傷を中心に手術特性や急性期リハビリテーションのリスク管理、臨床上の注意点などを踏まえ、明日からすぐにでも使える知識・技術を得ることができました。他病院で多くの症例を経験している臨床家の話を間近で聞くことができ、当ブロックにおいても良い刺激を受けることができたのではないかと思います。また、11月6日には卒後教育研修の中級編である「全人間的アプローチ」と「KYT」を八代ブロックとの共同にて開催しました。同じワークショップ形式である1年次の「ラポール形成」と違って、2年次以降での研修ということで活発な意見やスムーズな進行がみられ、新人さんの成長を感じる一日でした。

下半期に入り、県南ブロックの活動も症例検討Ⅱや定例勉強会、水俣市主催の健康まつりへの参加などさまざまな行事が続きますが、今年末・年度末と忙しい時期にも入りますが、今後とも会員のみなさまの積極的なご参加をよろしくお願いいたします。



天草ブロック

水田 順司

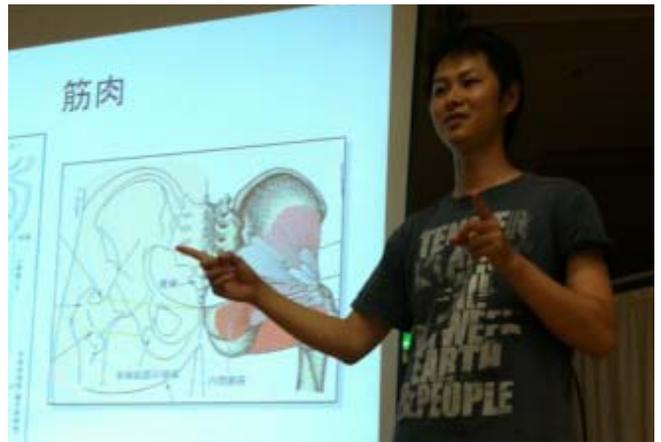
11月に入っても暖かい日が続いておりますが、皆様もお元気に臨床に励んでいらっしゃると思います。私は最近息子と愛犬と一緒に早朝よりジョギングや散歩をしておりますが、少しずつ風が冷たくなっており、季節の移り変わり感じながら親子のコミュニケーションを楽しんでおります。

さて天草ブロックの活動ですが、今年の年間テーマであります関節可動シリーズ3回目の定例勉強会を9月9日天草市立牛深市民病院の四方田将昌先生に講師をお願いして開催いたしました。テーマは「関節包内運動の治療による関節可動域拡大の実際」と題しまして実技を交えて講義をして頂きました。内容は『関節包内運動』について①関節の遊び(骨運動は伴わない)と②構成運動(骨運動を伴い、自動・他動のどちらでも生じる)についてと関節可動域の維持や拡大は、関節包や筋・腱の延長によりもたらされることについてお話いただき、実技は1. 膝関節の関節包内運動①ROLL②CONCAVE SLIDE③SPINと2. 股関節の関節包内運動(外転・内転)①CONVEX SLIDEについて行っていただきました。参加者は20名と少し寂しくもありましたが、補助講師の先生方にも参加いただき、分かりやすく、またすぐ臨床でも実践できる内容でした。



10月の勉強会では本シリーズの最後を天草ブロック学術部長の天草市立河浦病院の山本龍誠先生にお願いして「軟部組織の治療による関節可動域拡大」と題しまして講義をして頂きました。内容は「関節可動域の拡大について」身体の各部位に対して

どの組織がどのような制限を受けているのかをしっかりと評価し、その制限因子を見極め、それに沿ったアプローチの展開の必要性を述べていただき、特に今回は筋膜と筋肉についてお話いただきました。実技では実際に1. 筋膜に対するアプローチと2. 筋肉に対するアプローチを行っていただきました。25名の先生方に参加いただき、参加された皆様方には改めて評価の大切さを実感していただけたのではないかと思います。



11月には恒例の3年目の先生方による発表を行います。内容は今年のテーマである関節可動域について今までの講義を生かしながら各先生方の臨床におけるアプローチ方法などを症例を通して発表して頂きます。諸先輩方には色々なアドバイスをして頂き、後進の育成にお力をお貸しいただければと思います。

最後に県学会も残すところあと3カ月となりました。市民公開講座の中身も決定し今から最終段階へと進んでいきます。また、演題発表においても各先生方や施設、ブロック長の皆様方にもご尽力いただき、予想を上回る数の演題登録があり、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。また、それに伴い全てのセッションの座長が決定いたしました。座長をお引き受けいただいた先生方ご多忙の中お手数をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願いいたします。多方面にわたり数々に皆様のご尽力により県学会が開催されます。最後までよりよい学会になるよう天草ブロック会員一同頑張っておりますので、みなさん2月19日は是非天草にお越しいただければと思います。

「かくどけい」に歴史あり ザ・ヒストリー

かくどけいの表紙に理学療法士の歴史あり。広報紙「かくどけい」も法人化してめでたく100号を迎えました。これを機に世俗や社会情勢を見事に反映した99号までの表紙を一挙掲載しました。個展を開けるのではないかと思わせる素晴らしい作品集です。各年の重大ニュースと重ね合わせながらご覧ください。



1994年 法人格取得 1995年 阪神大震災くじ発売 流行語「がんばろうKOBE」 マカワ社「Windows '95日本語版」発売



トジャス野茂投手新人王獲得 1996年 標榜診療科としてリハビリテーション科承認 アトナリリック開催 流行語「ムードラ」 1997年



流行語「失楽園」 日本人初の宇宙船外活動 たまごっちゲーム 消費税5%へ 長野新幹線開業 1998年 長野冬季パラリンピック開催



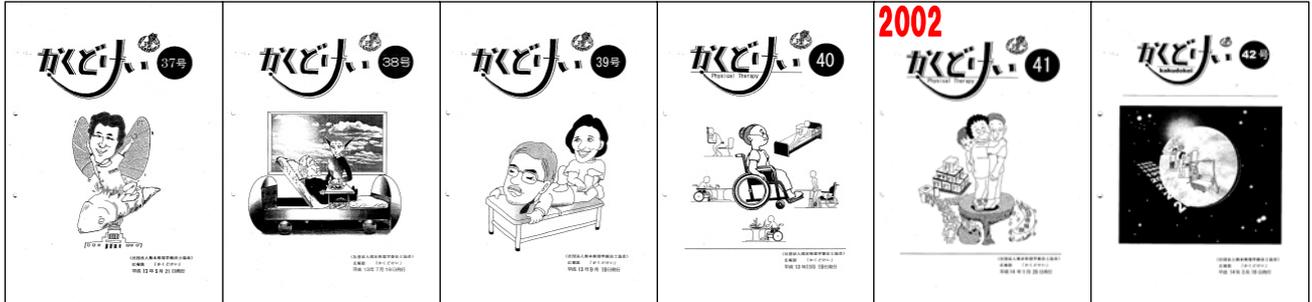
ワールドカップ日本初出場 流行語「だっちゃん」 マリア最多70本塁打達成 1999年 大分国際車いすマラソン公認世界記録樹立



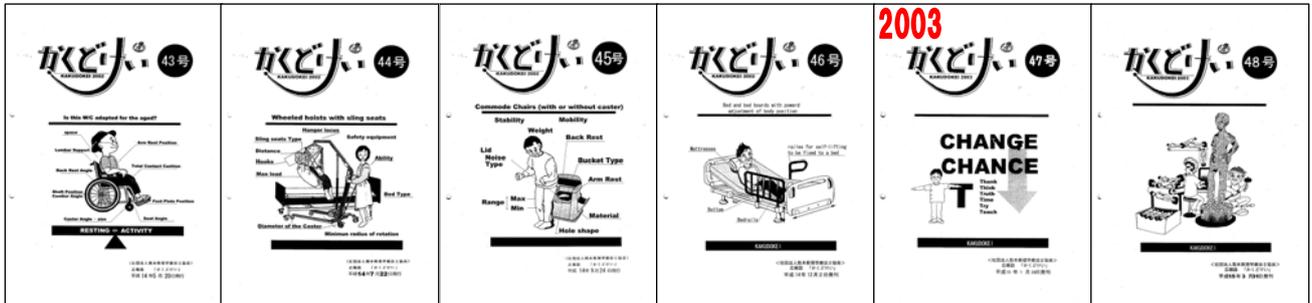
第13回世界理学療法士連盟学会開催 「ターナーズ・ビルド1」公開 流行語「リッソ」 だんご3兄弟ヒット 2000年 介護保険スタート



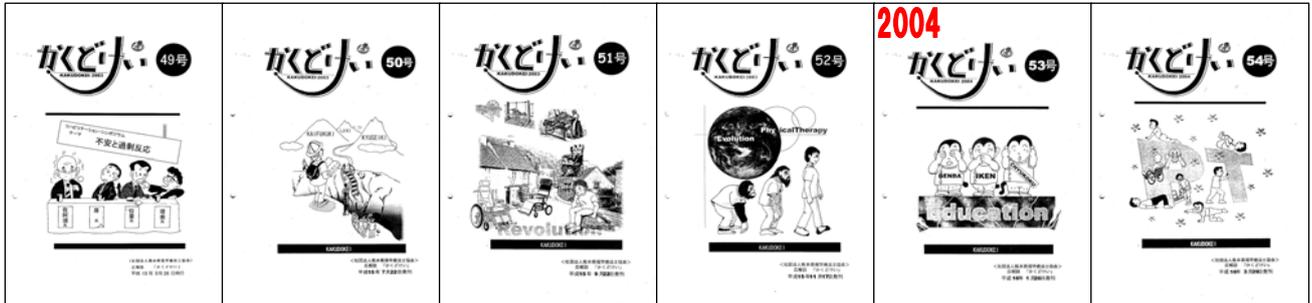
外二-リカ' ック開催 流行語「おっはー」 人間型味' ット ASHIMO 発表 2001 年 ヒトに関する知-技術等の規制に関する法律制定



小泉内閣誕生 アメリ同時多発テロ発生 流行語「小泉語録」 田中外相記事差し止め事件 2002 年 理学療法士養成学校・定員の増加



W杯' ック開催 日韓サッカーワールド' 杯開催 拉致被害者北朝鮮から帰国 流行語「W杯」 2003 年 日本理学療法士連盟設立



SARS' ック流行 療養型病床入院料大幅削減 流行語「マニエリ」 朝青龍横綱昇進 日本郵政公社営業開始 2004 年 自衛隊' ック派遣



行初リカ' ック開催 流行語「フ-気持ちいい」 イ-シーズン' ック最多安打達成 新礼誕生 2005 年 宇宙' ック群雄割拠 流行語「想定内」



愛知県で愛' 地球博覧会開催 楽天' ック参入 DPC 対象病院に向けての準備 2006 年 介護保険制度改正(介護予防スタート)



トリノ冬季オリンピック開催 第1回WBC日本優勝 ドイツサッカーワールド杯開催 流行語「イハッー」 2007年 赤ちゃんポスト設立



疾患別別科別リハビリテーション診療報酬改定 流行語「どげんかせんといかん」 コスメ介護事業指定取消 2008年 後期高齢者医療制度施行



流行語「アッー」 北京オリンピック開催 iPhone発売 短時間型通所リハビリテーション創設 2009年 がま大統領就任 第2回WBC日本優勝



裁判員裁判開始 皆既日食日本陸地にて観察 鳩山内閣誕生 流行語「政権交代」 2010年 マイケル・ジャクソン「THIS IS IT」公開



流行語「ゲゲゲの〜」 大相撲野球賭博問題 山陽・九州新幹線「みずほ」設定 2011年 伊達直人の贈り物 九州新幹線全線開業

広報紙「かくどけい」の表紙は創刊当時から野尻晋一先生にお願いしております。ご協力いただきます事に、この場をお借りして改めて厚くお礼申し上げます。 広報部一同

東日本大震災発生 ドイツ女子サッカーワールド杯などでしこじヤパン優勝 野田内閣誕生

ザ・メイキング「かくどけい」が出来るまで

法人格取得後100号を迎えることができた広報誌「かくどけい」ですが、今回、記事の企画立案から「かくどけい」が発刊されるまでの流れを広報部員の仕事を軸にダイジェストで紹介します。

編集会議

次号の企画を部員みんなで議論

内容の企画立案は編集者のセンスの見せ所。大まかな構成を編集会議に提案。内容を部員で議論します。



100号キター(∇°)ー！ 共に成長していると思いたい。ご協力頂いていた方々に感謝。目指せハイクオリティ〜!!!

原稿依頼・受取・編集

各担当が原稿依頼と原稿編集

執筆者へ原稿依頼。原稿を締め切りに間に合うよう頂くまでのやり取りは各担当の腕の見せ所。頂いた原稿のレイアウトや色などを考え編集。出来上がった原稿を各号の編集責任者へ送ります。



表紙には最新情報が隠れとるばい！最新のトピックスを題材に2時間〜2日間で描かれとります(∩∩)各先生方からの原稿の編集楽しみとたい(∩∩)今回は原稿が早く届いた!!!編集、頑張るばい(∩_∩)-☆原稿の催促の電話はドキドキするばい(((∩;°∩°)))大切な原稿だけんちゃんとチェックせん(◎o◎)/季節のイラストに全力投球たい(*∩)v



編集作業・入稿

編集責任者が全コンテンツを集約

送られてきた全ての原稿を全体の構成を考えながら編集します。空白をいかに埋めるか、原稿の組み合わせをどうするのか編集責任者のセンスの見せ所。冊子として印刷業者に回す原稿とCD-R及びHP用のPDFファイルを作成します。作業は日をまたぐ事もあります。



かくどけいを心待ちにしている人のために頑張って作るばい(∩o∩)/ワードで編集は難しかった(-_-)さあ買出しに出かっそ〜!!!スムーズにPDF変換でくつとよかね(∩°)ノ 編集作業は深夜に及ぶこつもしばしば…今日は何時に終わるとかなあ?(/ω\)



発送作業

編集責任者が発送責任者となり発送準備

出来上がったCD-Rと冊子の発送準備をします。CD-Rは会員施設へ、冊子は他団体や他理学療法士協会へ送ります。こうして皆様へ「かくどけい」は届きます。



また封筒で手を切って出血したばい…(;>O<)”・同封への手伝いありがとうございます!!!同封物は数ば間違えんごつ気をつけにゃん^^; 封筒も量が多かと事務局に運ぶとも大変ばいY(;>_<)Y 印刷や発送費は集金に来てくれるけん助かる〜(∩^∩#)



僕は「かくどけい」作りに一人だけ関わらんとらん(;>_<)ばってん、実はこっそりHPの方で皆様の熱い想いが伝わる様に頑張るととです(∩^∩)

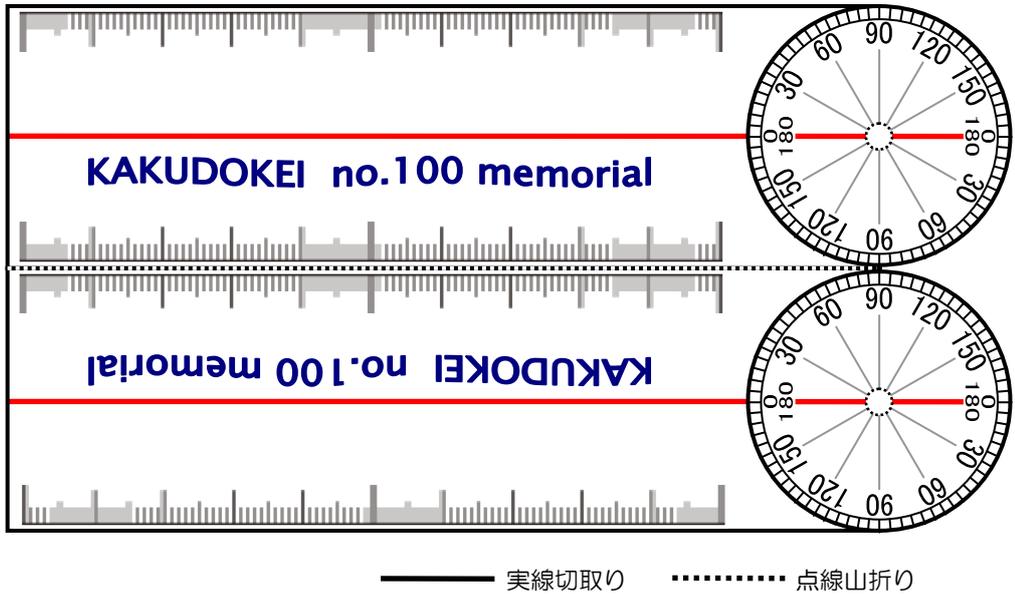
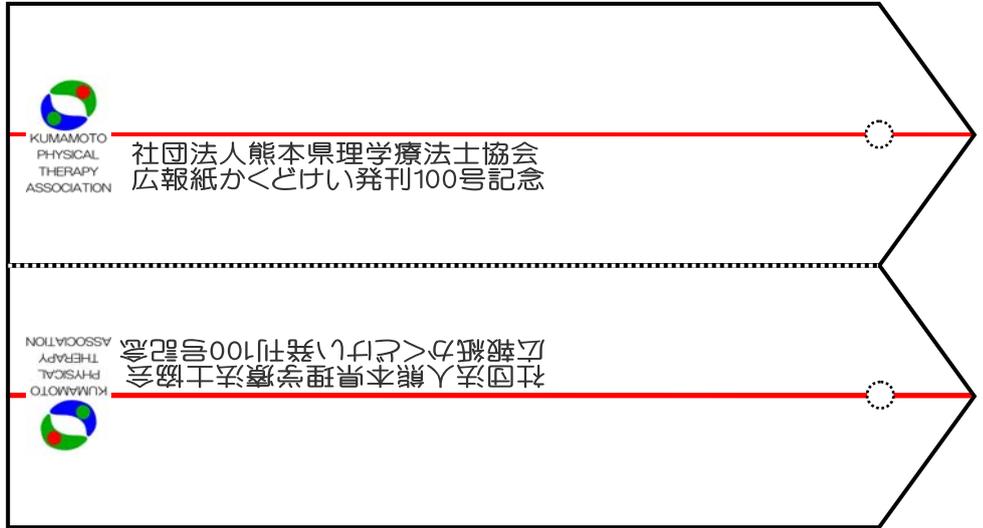
その他の仕事

現場インタビューの記事依頼と掲載

協会ホームページの現場インタビューの記事を依頼。出来上がった記事は校正後、広報部長によりHPに掲載されます。



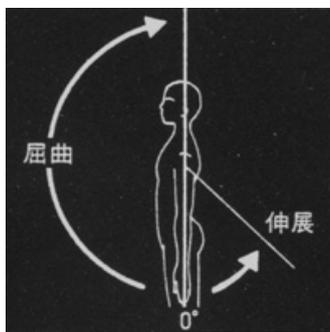
（社）熊本県理学療法士協会
 広報紙かくだけい発行100号
 記念付録 角度計クラフト版
理学療法士作って体験！



角度計（ゴニオメーター）とは

角度計とはリハビリテーションなどで人体の関節の角度を計測する機器であり理学療法士の必需品です。角度計を計測する関節の中心に当て、固定バーを基本軸の骨軸、移動バーを移動軸の骨軸に合わせ、関節の最大可動域まで5度刻みで計測します。

例① 肩関節屈曲・伸展



参考可動域角度

屈曲 180度

伸展 50度

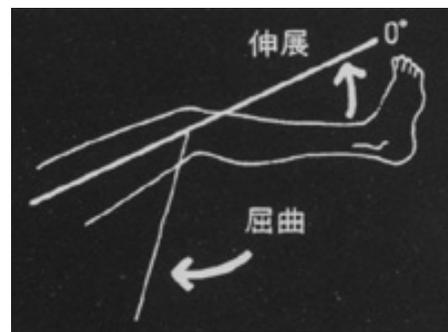
基本軸

肩峰を通る床への垂直線

移動軸

上腕骨

例② 膝関節屈曲・伸展



参考可動域角度

屈曲 130度

伸展 0度

基本軸

大腿骨

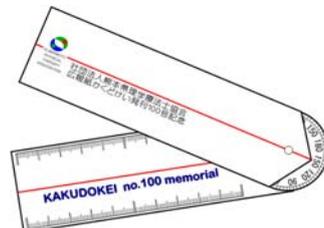
移動軸

腓骨

*ペーパークラフトの作り方 角度計（ゴニオメーター）

①組立部品を実線に沿って切り取り、それぞれの部品を点線に合わせて山折りし貼り付けます。

②それぞれの点線の円を切り抜き割りピン等で繋がります。



割りピン

大 観 望

『今年を振り返って』

IT 事業部部长
熊本保険科学大学
岩下 佳弘

今年も残すところおよそ1ヶ月となりました。1年を振り返ってみますと、3月11日に未曾有の東日本大震災が日本を襲い、私たちにたいへん大きなショックを与えたとともに、日本というくくりでのつながりを強く感じさせられました。また、原子力エネルギーの問題についてこのときほど真剣に考えたことはありませんでした。あれから半年以上経ちますが、復興に関して明るい希望が持てるような話題はほとんど耳にしていませんし、原子力問題についても正しい答えは得られていません。今年は多くの方が日本の社会や政治、もっと身近な地域などについて深く考えさせられた年だったのではないのでしょうか。

さて、来年の4月には医療保険と介護保険の同時改定が行われます。この点は多くの医療者の関心ごとだと思います。まだ改定内容については不明ですが、なでしこジャパンのワールドカップ優勝を思わせるような明るい改定があればと思っています。しかし、ただ願っているだけでは、何も変わらないことは明白ですので、熊本県理学療法士協会と同様に熊本県理学療法士連盟の活動に関心を持ち、少しでも関わることが大切なことだろうと思います。

最後に、今年度のIT事業部について触れておきたいと思います。今年度のIT事業部は積極的な活動をしてきたとは言い難いのですが、情報共有推進化特別委員会に部員の半数が所属し新ホームページの立ち上げから運用までを軌道に乗せるために尽力しております。現在の主な問題は、各部に充てられたページの入力や修正作業上の不具合などであり、システムに関わる問題がほとんどですので業者対応がほとんどです。新ホームページになってからの反響は、アクセス解析データからの分析では、昨年度とはシステムが変わったこともあり単純に比較できませんが、4月のホームページ立ち上げから訪問者数は右肩上がり経過しています。来年度も委員会が継続されるのかわかりませんが、理学療法士会員だけでなく、一般市民の方にも見ていただけるようなホームページにしていけるように、IT事業部として

何ができるか知恵を出しあっていきたいと思います。来年度は情報量や情報の質といったことが主な議題になるように方向づけられればと思っています。これからもよろしく願いいたします。

『ハラスメント』

宣伝部部长
水前寺とうや病院
草野 隆夫

セクシャル・ハラスメント（性的な嫌がらせ）やパワーハラスメント（職務上の権力を背景にしたいじめ）という言葉は、皆さん聞かれた事があると思います。自分は、誰にもこのような事をしていないと思って、大丈夫と思っていますか？

当施設は、社会保険労務士の会社と契約を結んだ事で、先日「セクハラ・パワハラについて」の院内教育研修が行われました。その内容を聞いて自分自身が反省しなければいけない事がたくさんありました。

セクハラとは、対価型（被害者の不利益が生じる）と環境型（就業環境が不愉快になる）に分類されます。特徴としては、①性的な事柄に起因する言動 ②相手が望んでいない言動 ③職務上の上下関係、力関係が影響している が挙げられます。相手を対等な仕事のパートナーではなく、自分より下の存在として見下す意識に加えて、相手を異性としてみる事が加わった時に、起きやすいと言われていています。タイプで言うと、強要・身体接触・発言・視覚・強引・つきまとい・傍観者の7つがあるようです。

パワハラとは、「執拗な叱責」「過剰なノルマの押し付け」「暴言」「脅かし」「相手を尊重しない態度」「無視」「身体への暴力」など、業務上の指導や付き合いの形を借りて様々なやり方で行われ、急増しているそうです。

事業主としての解決策は、①方針の明確化（規程）及び周知・啓発 ②相談窓口の設置と広報 ③事後の迅速かつ適切な対応が必要です。個人としては、相手を思いやる「気持ち」が一番大切です。相手の心を押し量る想像力が大切です。

自分の職場でこのような問題が起きた時に、気軽に相談できるような上司であり、風通しの良い職場環境をきちんと作れる上司にならなければいけないと肝に銘じました。



『リハビリテーション・ケア合同研究大会
くまもと 2011 の運営・発表を終えて』
熊本リハビリテーション病院
新堀 晃史

ついに15年ぶりに帰ってきました。そうです。1997年に米満弘之会長の下、熊本で始まったリハビリテーション・ケア合同研究大会が2011年、再び熊本に帰ってきたのです。『リハ・ケア再考～すべての人にリハ・マインドを届けよう～』のテーマで10月27～29日の3日間にわたり、ホテル日航熊本、くまもと県民交流館パレア、鶴屋ホールで開催されました。リハビリテーションに関わる様々な職種の方々が参加する大会です。今回の大会事務局は当院で、当院が中心となり大会運営を行いました。またこの大会では、私自身もポスター発表を行うことが決定しており、運営をしながら発表するという、いわば“2足のわらじ状態”で大会に臨む事になりました。

私にとって初めての大会運営の経験でもあり、多くのトラブルが起こるであろうと予測し、臨んだ大会当日。確かに色々起こりました。しかし、これがチームアプローチかと思わせるほどのスタッフ間の見事な連携により問題は次々と解決。スムーズに初日を終わることができ、2日目、3日目へと繋ぐことができました。しかし私には発表が残っていたのです。それは3日目。大会運営に忙しく関わっていたこともあり、「今回は緊張なんか全くしないだろうな」と朝までは思っていました。しかしそんなことはありませんでした。時間が迫るにつれ、そわそわして落ち着きません。スタッフジャンパーを脱いだり着たり、やたら人と喋りたくなったり、携帯電話をいじってみたり…。そんなこんなで発表の時間。落ち着いて自分の言いたいことを話すことができ、無事終了しました。緊張しましたが、行って良かったと思いました。大会には、全国から2,000名を超える方々に参加していただき、少しは熊本の良さを実感し、堪能してもらえたのでは、と感じています。そして、私の大好きなゆるキャラ『くまモン』を日本全国に売り込めたのではないかと。

今回、運営と発表に関わり、裏方の大変さと、表舞台の緊張感を体験することができ、忙しくはありましたが、本当に勉強になりました。

最後に、リハ・ケア大会にご協力頂いた協力病院や学生の皆様、病院不在中に勤務して下さいましたスタッフへ心より感謝申し上げます。

『リハビリテーション・ケア合同研究大会
くまもと 2011 に参加して』
リハビリテーションセンター熊本回生会病院
岩崎 正浩

去る10月27日～29日にかけての3日間、熊本で開催されたリハビリテーション・ケア合同研究大会くまもと2011に参加させて頂きました。この大会は第一回大会が熊本で開催され、今回15年ぶりの熊本開催でした。今回の大会テーマである「リハケア再考～すべての人にリハ・マインドを届けよう～」のもと幅広い分野にわたっての公演があり、まさに地域の連携を軸とした学会だったのではないかと思います。

大会開始の公演にてリハケア学会の歴史を振り返る中で、介護保険制度、回復期リハ病棟の創設など大きな変化があったことの紹介があり、私自身これまでのリハビリテーションについて振り返るいい機会となりました。また常に変化する医療界の波に乗り遅れないよう日々、勉強が必要であると改めて感じました。さて、リハ・マインドとは「総合的な分野でのリハビリテーションの実践により、対象者がその人らしく生きる権利を取り戻すことを目的とした考え方」と定義されています。今度超高齢化社会を迎えるにあたり、地域リハビリテーションの充実が必要であると言われており、職種間の壁を越えた連携を広げていくと同時に、自分自身もリハマインドを持って日々の業務、生活を送っていこうと改めて感じました。また、私自身全国学会での発表は初めての経験でしたが、県内だけでなく他県のセラピストとの意見・情報交換が行えた事はとても有意義な学会となりました。現在回復期に携わっていることもあり、今回は回復期の発表を中心に拝聴して回り、他院での発表を通して当院でも行える取り組みや研究テーマを見つけることも出来ました。今後の回復期の発展に活用していきたいと思います。その他にも、シンポジウムやランチョンセミナーにも参加し、非常に興味深い内容を聞くことが出来、多くのことを吸収できたように思います。

今後も日々勉強の精神を忘れず、又機会があれば県外への発表にも参加していきたいと思えます。ちなみに、来年の開催地は札幌が予定となっているようです。





「運動時の酸素療法」

今回は運動時の酸素療法に関するお話です。慢性呼吸不全患者の中には、在宅酸素療法導入の有無にかかわらず運動時に低酸素血症を生じる方がおられます。これは運動時の適切な酸素療法が行われていないからです。安静時や運動時を問わず推奨されている SpO₂（血中酸素飽和度）の値は90%以上です。90%未満になりますと**低酸素血症**に伴う息切れなどの臨床症状が出やすくなります。低酸素血症が日常的に起こると**肺高血圧症**を伴う肺性心(右心不全)を合併しやすくなります。それが著しいと最悪突然死も起こりえます。低酸素血症の是正には適切な酸素量の投与が必要となります。運動時や日常生活動作訓練時には SpO₂ が90%以上を保持できるように酸素量の調整をすることが大切です。大まかな目安として安静時酸素量の1.5～2倍です。それでも重度の呼吸不全患者では十分でなく、より高濃度の酸素を吸入してもらうこともあります。その手段としてリザーバー付鼻カニューレや各種酸素マスクがありますが、お手軽な方法としてリザーバー目的で使い捨てのサージカルマスクを鼻カニューレと併用することで代用できる場合もあります（写真1）。いずれの場合もパルスオキシメーターを利用して運動中の SpO₂ の変動をチェックし、その結果を医師と十分に検討して酸素量や吸入方式を決定してください。

最後に本題から外れますが、通常酸素吸入に用いるカニューレはチューブを掛ける耳の部分が痛くなることが多いようです。ストッキングの脚の部分の輪切りにし、リングを作って写真2のようにカニューレに結びつけて耳に掛けるようにすると痛くなりません。お試しください。

* 低酸素血症

通常健康な人の動脈血中の酸素分圧は81～95mmHgに保たれていますが、これを下回る状態のことをいいます。症状は、呼吸困難やチアノーゼという症状の他に、意識障害や不安、視力低下、判断力が鈍るなどの精神・神経障害や、不整脈、手足が冷たくなる、血圧上昇などの循環器の障害といった症状がみられます。

* 肺高血圧症

肺動脈の血圧が異常に上昇することを肺高血圧症といいます。やがて上昇した血圧は、太さを問わず肺動脈を損傷させます。毛細血管の壁は厚くなり、血液と肺の間で、正常な酸素と二酸化炭素の交換ができなくなります。そのため、血液中の酸素濃度が低下します。酸素濃度の低下は肺動脈の狭窄を起こします。この変化によって、肺を循環する血管の血圧がさらに上昇します。



写真1



写真2

医療・介護ナビ

お役立ち便利グッズ紹介

らくらくプラグ

電気製品のプラグ抜き差し、普段の生活でよくする動作ですが、指の力が落ちてくると、抜くのが難しくなります。

年齢が高くなると、どうしても指の力、特に親指と人差し指でつまむ力が弱くなっているからです。指全体でプラグを抜こうとしてかんでしまい、勢い余って尻もちをついてしまう場合もあります。

「らくらくプラグII」は、プラグの両側についている羽の部分を軽くつまむだけで、差込口からバー（棒）が飛び出してコンセントの壁を押し、力を入れなくても簡単に抜くことができます。

握力の弱い人や利き手が使えない人、子供でもプラグを傷めず安心です。



力を入れず簡単抜ける

杖先ゴムくいくい

一本杖は、一番よく使われる歩行補助具ですが、杖先のゴムがつるつるになっても使っている人をよく見かけます。濡れた床や道路でツルっと転ばないよう、普段から杖先には十分気を配り、すり減ってきたら取り換えるほうが安心です。

杖先ゴムは斜めに杖をつくと、底ゴムが地面に当たる設置面積が少ないため、滑りやすく転倒の危険性があります。ですが、「杖先ゴムくいくい」はどんな角度で杖をついても、かっちり地面をつかむよう工夫されており、滑りにくくて安全です。

杖先ゴムの直径でゴムのサイズも異なるので、サイズをしっかりと確認して購入してください。



がっちり地面をつかむ工夫

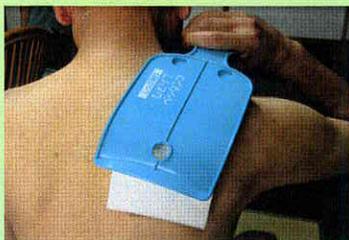
しっぷ貼り

ひっそりでペタンコ

なかなか手の届かない背中や腰にひとりで湿布を貼ろうとして苦労したことはありませんか。

肩関節や肩甲骨の動きが悪かったり、その周辺に痛みがあったりすると、頭や腰に手を回すような動作が難しくなります。「しっぷ貼りひとりでペタンコ」は、湿布貼りがしにくい部分も、体に沿ってスライドするだけで、シワなくきれいに簡単に貼れるプレートです。

使い方は、湿布のフィルムを七分目まではがし、粘着面を上にしてプレートをセットし、プレートのカバーを閉じたら残りのフィルムをはがします。あとは貼りたいところに軽く押さえながらスライドさせるだけです。



シワなくきれいに簡単に

第16回熊本県理学療法士学会

ブランドキャラクター

～我々は理学療法士である～

日時：平成24年2月19日（日） 会場：天草市民センター 担当：（社）熊本県理学療法士協会 天草ブロック

第16回熊本県理学療法士学会準備進行中

学会長 江崎 重昭

さて、学会の準備ですが現在着々と進んでおります。今回も皆様のご協力により32題もの演題が集まりました。当初は締め切り間際というのに、登録演題が5題という状況でハラハラしました。しかし結果は予定の演題数を越えたためお断りせざるを得ない状況となりました。演題をお断りした先生方には大変申し訳なく思っております。

従来より熊本県理学療法士学会は、会員の皆様の学術等の向上を目的としておりますが、今回は更に市民の方々への理学療法（士）の啓蒙も目的に入れました。そのため今回は、学会参加費を無料とし、一般市民を対象としたシンポジウム（市民公開講座）を企画しました。シンポジウムでは、初めに北里会長による理学療法士の現状をご解説いただき、その後、市民の方へのアピールとして各種の講演・指導・相談コーナーを設けました。講演の中で、協会理事の飯星雅朗先生と熊本保健科学大学の鍋木誠先生には、会場に集まった市民の方へ、直接理学療法士の専門性をご講演・ご指導していただきます。また、熊本機能病院の東利雄先生は、去る3月に発生しました東日本大震災後の被災者支援に理学療法士として参加されましたので、その時の活動をご報告していただきます。今回の先生方の活動を通じて、理学療法士は何を求められているのか？ 何が出来るのか？の問いに対して考えてみようと思います。天草という、遠方ではございますが多数のご参加をお待ちしております。

●市民公開講座「理学療法士からみた腰痛治療！！」詳細が決定しました！

第1部 理学療法士をご存じですか？

講師／北里 堅二（社団法人 熊本県理学療法士協会 会長）

東日本大震災後の被災者支援活動 ～理学療法士として～

講師／東 利雄（熊本機能病院 総合リハビリテーション部 課長補佐）

第2部 腰痛の基礎知識

講師／飯星 雅朗（社団法人 熊本県理学療法士協会 理事）

第3部 腰痛の自己管理法 ～腰痛予防体操の紹介～

講師／鍋木 誠（熊本保健科学大学 リハビリテーション学科）



●参加者の方へ 参加料に関して

参加費：無料 *ただしポイント申請される場合は1000円が必要となります。

●演者の方へ 発表スライド原稿に関して

発表スライドを学会前に提出していただきます。平成24年1月4日(水)～1月31日(火)必着です。下記提出先までCD-Rを郵送してください。Windows PowerPoint97-2003以下で編集されたものに限ります。動画・音声出力は対応いたしません。PowerPointのタイトルは「発表者氏名（スペース）演題名」としてください。例)天草太郎 高齢者のQOLに関して
お送りいただいたスライドの内容変更は出来ません。学会当日はお送りいただいたCDのコピーを控えとしてご持参下さい。

●応募・提出に関するお問い合わせ

第16回熊本県理学療法士学会準備委員会 演題管理担当：吉永 雄一

〒863-2301 天草市五和町御領9133 介護老人保健施設ブルーミング天草リハビリテーション部

TEL：0969-32-2112 / FAX：0969-32-2177

メール：info@ichiyokai.or.jp (件名に、ブルーミング天草リハビリテーション部 吉永雄一 宛と必ず明記してください。)

PT Walker 熊本

くまもとの理学療法情報

★訪問リハビリテーション

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士という専門職が、居宅（ここでいう「居宅」には、自宅のほか軽費老人ホームや有料老人ホームなどの居室も含みます）を訪問して行われる、心身の機能の維持回復、日常生活の自立を助けることを目的とするリハビリテーションをいいます。

訪問リハビリテーションを利用できるのは、居宅で生活を送る、「要介護」と認定された人です。ただし、主治医が、利用者の病状が安定しており、サービスの利用が必要だと認めた場合に限りです。

★介護予防訪問リハビリテーション

介護予防を目的として、一定の期間、利用者の居宅で提供されるリハビリテーションをいいます。介護予防訪問リハビリテーションを利用できるのは、居宅（ここでいう「居宅」には、自宅のほか軽費老人ホームや有料老人ホームなどの居室も含みます）で生活を送る、「要支援」と認定された人です。ただし、主治医が治療を必要とする程度について、厚生労働省令で定める基準に合致していると認めた場合に限りです。

県内で理学療法士が訪問リハビリテーションを行なっている施設を地区ごとに紹介します

訪：訪問リハビリテーション 予：介護予防訪問リハビリテーション

◆熊本市ブロック菊阿地区

- 阿蘇温泉病院 訪 予
- 岸病院 訪 予
- 熊本リハビリテーション病院 訪 予
- 熊本セントラル病院 訪 予
- 勝久病院 訪 予
- 大阿蘇病院 訪 予
- 阿蘇立野病院 訪 予
- さかなしハートクリニック 訪 予
- 介護老人保健施設
リハセンターひばり 訪 予
- 介護老人保健施設
愛・ライフ内牧 予



熊本県介護サービス情報公表センターより(平成23年2月現在)

理学療法士会 広島 便り

『理学療法士、家を買う。』

少し前に『フリーター、家を買う。』というテレビドラマがありました。ドラマの内容は割愛させていただきますが、現実的にフリーターが家を買うのは無理です。なぜなら住宅ローンが組めません。ローンを組むにはどの金融機関でも審査があります。金融機関はお金を貸す以上、回収できない者には貸しだすことはありません。住宅ローンの場合、金融機関が審査するのは一時的な年収の金額だけではありません。住宅ローンは長期にわたって返済が続くものですから、安定した収入が長く続く人なのかどうかも審査のポイントになります。安定収入の証明ができれば融資を受けられない可能性があるのです。

では、安定した収入が得られる職業として理学療法士はどうでしょうか？40歳に近い私は、幸いなことに数年前に住宅ローンを組むことができ、小さな家を購入することができました。私の世代は広島県理学療法士連盟会長の梶村氏が言われている『リハビリ貴族』の世代です。雇用条件がよく待遇の手厚い30代後半の世代です。しかし、これから家族を養い、家を建てるためにローンを組もうと計画されている、若い理学療法士の皆様の状況はどうでしょうか。

年間約1万人ベースで理学療法士が増え続けています。増えた人々の就労の場はきちんと確保できるのでしょうか。また、来年度は医療保険と介護保険の診療報酬同時改定があります。理学療法（リハビリテーション）を患者様に提供し、我々が満足の出来る診療報酬を請求することができるのでしょうか。このような状況で安定した収入を得る仕事として理学療法士は維持できるのでしょうか。悲観的な状況の話ですが、明るい未来にするには、我々理学療法士自身で何か策を講じなければなりません。

その方法の1つとして、我々理学療法士は学術的・社会的・政治的な活動に参加し、国民に理学療法の効果や必要性を理解していただかなければいけません。公益社団法人である当会でも微力ながら県民に学術局や教育局、社会局や支部局と広報局、事務局や職能局などで手分けしてそれらに貢献していこうと思います。ぜひ会員の皆さまも力添えくださいま

すようお願いいたします。『フリーター、家を買う。』のような代名詞に理学療法士がならないためにも…。
(広島 No.216)

学会・研修会のお知らせ

糖尿病小委員会研修会

熊本県理学療法士協会の糖尿病小委員会が担当で研修会を開催します。ご多忙とは存じますが、お誘い合わせの上、是非ご参加下さい。

開催日：平成24年2月5日（日曜）9:30～11:20

会場：熊本リハビリテーション病院 新館2階

地域交流ホール

*駐車場はありますが、可能な限り乗り合わせでのお越しや公共交通機関の利用をお願いいたします。

内容：「糖尿病 ～合併症との闘い～」

講師：東 大弼 先生（社会医療法人社団熊本丸田会
熊本リハビリテーション病院 糖尿病センター長）

日本糖尿病学会専門医・日本内科学会認定
内科医・日本医師会認定産業医

参加対象及び参加費：

県協会員：1,500円

（参加費1,000円・資料代500円）

先着100名まで、当日受付にて徴収

参加申し込み及び問い合わせ先

熊本リハビリテーション病院

リハビリテーション部 理学療法科

福岡勇貴

TEL (096) 232-3111

FAX (096) 232-3119

E-mailにて申し込みを受け付けます。

E-mail y-tomioka@krh.marutakai.or.jp

①氏名 ②施設名 ③経験年数 ④所属ブロック（地区）⑤連絡先をご記入ください。

締切日：平成24年1月5日（厳守）



国際医療福祉大学大学院

福岡天神キャンパス (福岡県福岡市)
大川キャンパス (福岡県大川市)
熊本キャンパス (熊本県熊本市)

【修士課程】保健医療学専攻

看護学分野
ナースプラクティショナー
養成分野
助産学分野
理学療法学分野
作業療法学分野
言語聴覚分野
福祉援助工学分野
放射線・情報科学分野
リハビリテーション学分野
生殖補助医療胚培養分野
視機能療法学分野

医療福祉学研究科

【博士課程】保健医療学専攻

看護学分野
理学療法学分野
作業療法学分野
言語聴覚分野
福祉援助工学分野
リハビリテーション学分野
放射線・情報科学分野
視機能療法学分野
創薬育薬医療分野
医療福祉経営学分野
先進的ケア・ネットワーク
開発研究分野
医療福祉学分野
生殖補助医療胚培養分野
医療福祉国際協力学分野



平日夜間・土曜開講で働きながら修学可能!
短大卒・3年制専門学校卒で進学可能! (修士課程)

<http://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>

【修士課程】医療福祉経営専攻

医療経営管理分野
診療情報アナリスト
養成分野
創薬育薬医療分野
がん薬物療法学分野
先進的ケア・ネットワーク
開発研究分野
医療福祉学分野
医療福祉ジャーナリズム分野
医療福祉国際協力学分野

分野・領域についてのお問い合わせ・資料請求先

【福岡天神キャンパス】〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜1-3-1
TEL:092-739-4321 E-mail:fukucamp@iuhw.ac.jp
【大川キャンパス】〒831-8501 福岡県大川市榎津137-1
TEL:0944-89-2000 E-mail:oocamp@iuhw.ac.jp
【熊本サテライトキャンパス】〒861-8045 熊本県熊本市小山2-25-35(熊本総合医療リハビリテーション学院内)
TEL:096-389-1133 FAX:096-389-1135

賛助会員一覧

施設名	〒	住所	TEL
有園義肢株式会社	866-0815	八代市長田町 3300	0965-33-3983
アメックス熊本株式会社	862-0913	熊本市尾ノ上 1-3-9	096-384-6565
(有) 熊本託麻義肢	861-8034	熊本市八反田 2-1-49	096-380-8673
(株) 藺田義肢製作所	860-0811	熊本市本荘 4-5-5	096-364-9376
(株) タガワブレース	869-0605	宇城市小川町南部田 1555-1	0964-43-0503
(株) 徳田義肢製作所	862-0971	熊本市大江 6-27-20	096-364-0855
(株) ホワシ	861-8045	熊本市小山 5-19-55	096-389-5411
(株) ミタカ	861-3107	上益城郡嘉島町上仲間 850-2	096-237-2257
帝人在宅医療株式会社 熊本営業所	862-0913	熊本市尾ノ上 2-23-1	096-360-7333
(有) 三栄商会 サンエイ・メディカル	861-0516	山鹿市中央通 406	0968-43-7755



事業予定表

12 月		1 月		2 月	
日	曜	日	曜	日	曜
1	木	1	日	1	水
2	金	2	月	2	木
3	土	3	火	3	金
4	日	4	水	4	土
5	月	5	木	5	日
6	火	6	金	6	月
7	水	7	土	7	火
8	木	8	日	8	水
9	金	9	月	9	木
10	土	10	火	10	金
11	日	11	水	11	土
12	月	12	木	12	日
13	火	13	金	13	月
14	水	14	土	14	火
15	木	15	日	15	水
16	金	16	月	16	木
17	土	17	火	17	金
18	日	18	水	18	土
19	月	19	木	19	日
20	火	20	金	20	月
21	水	21	土	21	火
22	木	22	日	22	水
23	金	23	月	23	木
24	土	24	火	24	金
25	日	25	水	25	土
26	月	26	木	26	日
27	火	27	金	27	月
28	水	28	土	28	火
29	木	29	日	29	水
30	金	30	月		
31	土	31	火		
・教育部会議（9日）		・賛助会員懇談会 ・シティFM放送出演（25日）		・熊本城マラソン（19日） ・第2回テーピング講習会	
<卒後教育研修会> ・北地区（中級編：全人間）（7日） ・菊阿地区（中級編）（11日）		<症例検討会> ・八代ブロック（15日） ・県北ブロック（12月か1月）			
<症例検討会> ・熊本市ブロック西地区（4日） ・熊本市ブロック中央地区（4日） ・県北ブロック（12月か1月）					



医療機器トピックス

ミナト医科学株式会社 福岡営業所
〒812-0015 福岡県福岡市博多区山王2丁目2番22号
TEL 092(415)5353 FAX 092(415)5378

干渉電流型低周波治療器 **スーパーカイン**

Superkine
SK-10W DX

新発売

**完全独立6チャンネルにより
治療効率がアップ**

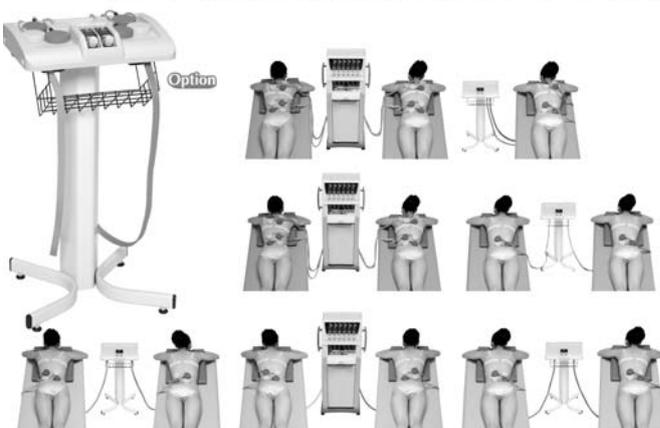


チャンネル毎に治療モードの設定が可能
6台のポンプで全チャンネルを安定吸引

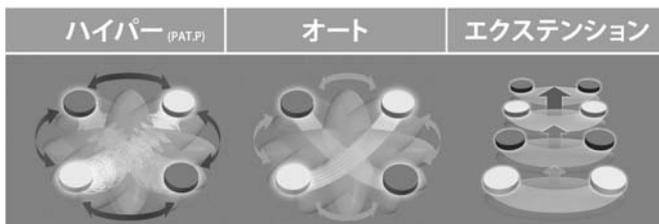


新設計のスリムフィット導子 (PAT.P)
① 癬痕がつきにくい軽量設計
② 衣服内に装着しやすい薄型設計

6チャンネルを効率的に稼働させるスタンドリモコン (PAT.P)



症状で選べる新治療モード



編集後記

祝かくどけい100号!!!。私は平成5年より広報部に入部し、あっという間の10数年でした(笑)。これからは公益法人の広報を担うものとして、更によりよい情報を提供できるよう部員一同頑張りたいと思います。さて、話は変わりますが、早いもので今年も残すところあと1ヶ月となりました。今年は東日本大震災、福島原発事故、なでしこジャパンのワールドカップ優勝等々、、、色々な出来事がありました。会員の皆様にとって、どの様な1年だったでしょうか?。年の瀬を迎えるにあたり、私自身もゆっくりと振り返ってみたいと思います。(D.S)

社団法人熊本県理学療法士協会広報誌「かくどけい」

号 数 第100号 通算137号
発行日 平成23年11月28日
発行人 社団法人熊本県理学療法士協会
〒861-8045 熊本市小山2丁目25-35
TEL/FAX 096-389-6463

STAFF

佐藤 亮	坂田 大介
江口 宏	岩村 泰年
緒方 美湖	山田祐理子
奥 蘭 彩	富 永 誠
野田 智愛	北岡 千春
渡邊 知子	松本 美香
有馬 正英	古川 晃次
財満 麻美	渡邊 大輔
福田 圭祐	中野 真実
南 留美子	岩見 幸省
野尻 晋一 (表紙)	

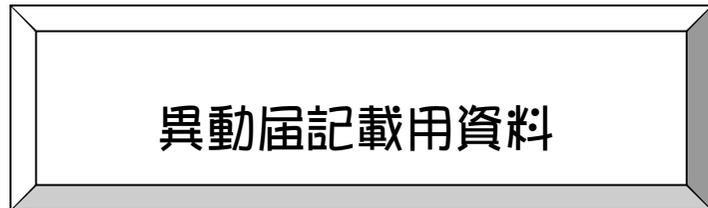


施設区分（Ⅰ）

A群		B群	
1	大学病院	1	厚生省
2	総合病院	2	文部省
3	一般病院	3	労働福祉事業団
4	老人病院	4	旧三公社（たばこ産業・JR・NTT）
5	小児施設	5	都道府県
6	老人施設	6	市区町村
7	教育施設	7	日赤
8	行政機関	8	済生会
9	保健所	9	北海道社会事業協会
10	その他（含む自宅）	10	厚生連
		11	国民健康保険協会連合会
		12	全国社会保険協会連合会
		13	厚生団
		14	船員保険会
		15	健康保険組合及びその連合会
		16	共済組合及びその連合会
		17	国民健康保険組合
		18	公益法人（社団・財団）
		19	医療法人
		20	学校法人
		21	会社
		22	その他の法人
		23	老人福祉施設
		24	身体障害者更生援護施設
		25	児童福祉施設
		26	精神薄弱者援護施設
		27	その他の社会福祉施設
		28	個人
		29	その他（含む自宅）

施設区分（Ⅱ）

医療施設	病院	大学病院	1 - 1	
		総合病院	1 - 2	
		老人病院	1 - 3	
		小児病院	1 - 4	
		一般病院（上記以外）	1 - 5	
		精神病院	1 - 6	
		結核病院	1 - 7	
		らい病院	1 - 8	
		その他	1 - 9	
		診療所	診療所・医院	2 - 1
医療福祉中間施設		老人保健施設	3 - 1	
		訪問看護・PT	3 - 2	
		在宅サービス	3 - 3	
		その他	3 - 4	
福祉施設	老人福祉施設	養護老人ホーム	4 - 1	
		特別養護老人ホーム	4 - 2	
		老人福祉センター	4 - 3	
		老人デイサービス	4 - 4	
		その他	4 - 5	
	身体障害者更生援護施設	重度障害者授産施設	5 - 1	
		肢体不自由者更生施設	5 - 2	
		身体障害者療護施設	5 - 3	
		重度身障者授産施設	5 - 4	
		身体障害者更生相談所	5 - 5	
		身体障害者福祉センター（A・B型）	5 - 6	
		その他	5 - 7	
	児童福祉施設	肢体不自由児施設	6 - 1	
		肢体不自由児通園施設	6 - 2	
		重症心身障害児施設	6 - 3	
		薄弱児通園施設	6 - 4	
		その他	6 - 5	
	教育・研究施設		養護学校	7 - 1
			PT教育施設	7 - 2
			研究施設	7 - 3
		その他	7 - 4	
行政関係施設		保健所	8 - 1	
		市町村保健センター	8 - 2	
		国県市町村（行政）	8 - 3	
		その他	8 - 4	
保健（健康産業）		スポーツ関係	9 - 1	
		フィットネス施設	9 - 2	
		企業	9 - 3	
		その他	9 - 4	
その他	自宅		0 - 0	
	営業（自営・開業）		0 - 1	
	その他		0 - 2	
	海外		0 - 3	



異動届記載用資料

会員異動届

注) 自宅住所を(室番号まで)を必ずご記入下さい。
 自宅会員になった場合は、自宅住所の都道府県理学療法士会に所属となります。自宅住所(室番号まで)・電話番号を必ずご記入ください。
 海外に異動の場合、都道府県士会に所属せず海外会員になることも可能です。
 海外会員になる方は、海外住所(海外勤務先・海外自宅)・国内住所(何らかの連絡がとれる住所)・Eメールアドレスを必ずご記入ください。
 休会中に、自宅住所・氏名等の変更がある場合にも、異動届を提出下さい。

県外異動・県内異動 (○で囲む)	在籍状況	在会・休会 (○で囲む)	提出日	平成 年 月 日			
	変更事項	改姓・自宅住所・勤務先 (○で囲む)	異動日	平成 年 月 日			
フリガナ	姓 名 印		旧 姓	会員番号(右詰めでご記入ください)			
氏 名							
所 属	県内異動	士会所属		入会年度	S・H 年度		
	県外異動	士会から	士会へ	新人教育プログラムの修了	済・未 (○で囲む)		
自 宅 自宅会員は 必ず記入	〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>						
	住所	都道 府県		電話	FAX		
	Eメールアドレス						
勤 務 先 自宅会員の場合 ”自宅” と記入する	フリガナ						
	名 称						
	所属部署						
	〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>						
	住所	都道 府県		電話	FAX		
施設区分	I	A群	-	B群	II	-	
会費納入	本 部 会 費		年度納入済		連絡事項		
	都道府県士会費		年度納入済				
	クレジットカード発行 (○で囲む)		済 未				

※ 口座変更を希望される場合は
 クレジットカード裏面コールセンターまでご依頼下さい。

<都道府県士会確認欄>

<士会受付番号> _____

_____ 士会事務局長 _____ 印 _____ 平成 年 月 日

< 個人情報について >

当届用紙より得た情報は、下記の目的以外には使用しません。

1. 名簿管理・発行
2. 協会が発行する機関紙等の発送、及び会員皆様の福利厚生を目的としたご案内等の発送
3. 会員の分布状況の把握 (集計数値を使用します)

社団法人 熊本県理学療法士協会 退 会 届

社団法人 熊本県理学療法士協会長 殿

この度 私は、社団法人熊本県理学療法士協会を退会しますのでお届け致します。

提出日 平成 年 月 日

退会日 平成 年 月 日

氏 名	印	会員番号	
勤 務 先			

※ 勤務先は熊本県理学療法士協会員としての勤務先をご記入ください。

※ 自宅会員の場合、「自宅」と記入ください。

